

第5章 地域別構想

5-1 地域区分

5-2 地域別のまちづくり

- 1 小松島・南小松島・北小松島・千代地域のまちづくり
- 2 児安・芝田地域のまちづくり
- 3 坂野・和田島・新開地域のまちづくり
- 4 立江・櫛淵地域のまちづくり

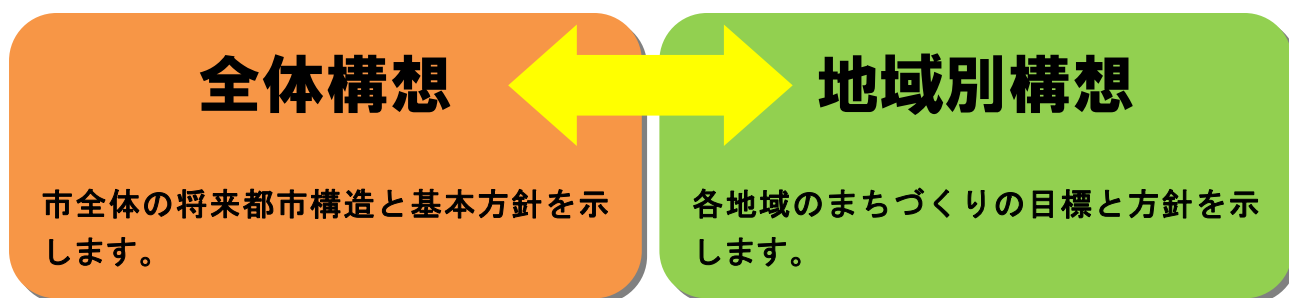
5-1 地域区分

1 地域別構想とは

全体構想では市全体の視点により、将来都市構造や基本方針を示しましたが、より具体的なまちづくりを進めていくためには地域ごとの課題にできるだけきめ細かく対応していくことが必要となります。

このため、地域別構想は、地域特性に応じた個性あるまちづくりを進めていくにあたり、市内をいくつかの地域に区分し、各地域のまちづくりの目標を設定し、それを実現するためのまちづくりの方針を示します。

地域別構想の策定にあたっては、全体構想における各地域の位置づけや特性、市民アンケート調査結果等を踏まえ、さらにはまちづくりワークショップで出された各地域の魅力ある資源や解決すべき課題などを参考にしながら、地域のまちづくりの目標や方針を示します。



2 地域区分の設定

地域区分は、各地域のまちづくりの目標や方針を考える上で適切な範囲となるように、地域的なまとまりやつながりを考慮しながら設定しました。

具体的には、日常生活上の交流範囲である小学校区の11地域を基本単位とし、地形や土地利用の状況などを考慮しながら、その基本単位を適切な範囲にまとめることで、本市の地域区分は、①小松島・南小松島・北小松島・千代地域、②児安・芝田地域、③坂野・和田島・新開地域、④立江・櫛淵地域の4つに区分します。



図 5-1 地域区分図


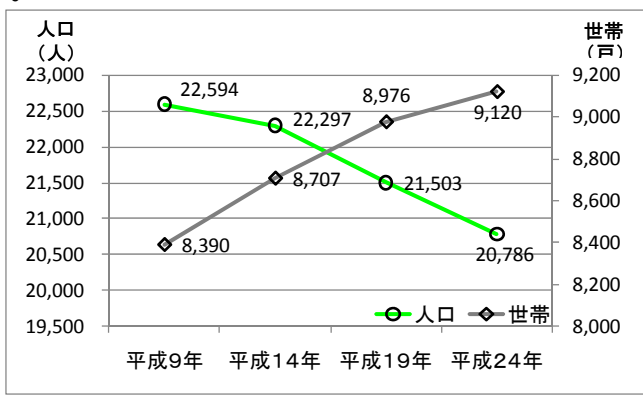
地域区分	構成する小学校区域	人口(人)	世帯数(戸)
①小松島・南小松島・北小松島・千代地域	小松島小、南小松島小、北小松島小、千代小	20,786	9,120
②児安・芝田地域	児安小、芝田小	6,181	2,384
③坂野・和田島・新開地域	坂野小、和田島小、新開小	10,874	4,232
④立江・櫛淵地域	立江小、櫛淵小	3,036	1,122

※平成24年3月末現在(住民基本台帳より集計)

5-2 地域別のまちづくり

1 小松島・南小松島・北小松島・千代地域のまちづくり

1 地域の現況・特性

<p>地域の概況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○「小松島小学校区」、「南小松島小学校区」、「北小松島小学校区」、「千代小学校区」の4つの小学校区で構成します。 ○本市の北部に位置し、徳島市と接しています。 ○地形は、大部分が平地となっており、北部に日ノ峰山があり、東部に海岸部を有しています。 															
<p>人口及び世帯数</p>	<p>○本地域の人口及び世帯数は、平成24年3月末現在の住民基本台帳より、20,786人、9,120戸となっています。市全体の人口の推移と同様に、本地域においても人口減少が続いています。</p>  <table border="1"> <caption>図 5-2 人口・世帯の推移 (各年3月末現在の住民基本台帳より集計)</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>人口 (人)</th> <th>世帯 (戸)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成9年</td> <td>22,594</td> <td>8,390</td> </tr> <tr> <td>平成14年</td> <td>22,297</td> <td>8,707</td> </tr> <tr> <td>平成19年</td> <td>21,503</td> <td>8,976</td> </tr> <tr> <td>平成24年</td> <td>20,786</td> <td>9,120</td> </tr> </tbody> </table>	年	人口 (人)	世帯 (戸)	平成9年	22,594	8,390	平成14年	22,297	8,707	平成19年	21,503	8,976	平成24年	20,786	9,120
年	人口 (人)	世帯 (戸)														
平成9年	22,594	8,390														
平成14年	22,297	8,707														
平成19年	21,503	8,976														
平成24年	20,786	9,120														
<p>土地利用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○本地域の大部分が市街化区域に指定されています。 ○港湾部に工業系用途地域が指定され、JR南小松島駅周辺に商業系用途地域が指定されているほか、周辺部に住居系用途地域が指定されています。 ○市役所などの公共施設、県立高等学校などの教育施設、徳島赤十字病院などの医療施設が立地し、利便性の高い中心市街地を形成しています。 															
<p>都市施設</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○都市計画道路のほぼ全てが本地域内、あるいは本地域を経由しており、近年、国道55号と中心市街地を結ぶ都市計画道路芝生日ノ峰線が開通しています。 ○都市計画公園は、徳島市にまたがる日峰大神子広域公園が開設されており、その他の主要な公園・緑地は、ステーションパーク、しおかぜ公園が整備されています。 ○公共下水道施設は、小松島雨水ポンプ場、外開雨水ポンプ場の2施設が供用されています。 															

2 市民アンケート調査（小松島・南小松島・北小松島・千代地域）

市民アンケート調査結果より、お住まいの地域（小学校区）の生活における満足度、重要度について、小松島・南小松島・北小松島・千代地域で集計したところ、次のとおりとなっています。

1 生活環境要素の満足度（有効回答者数 481 人）

生活環境要素の満足度は、「日常の買い物の利便性」73.9%、「自然の豊かさや景観」64.8%、「医療・介護・福祉関連施設の利用のしやすさ」62.9%が上位を占めています。

一方で、「火災・地震・水害などに対する安全性」11.4%、「河川や水路などの水のきれいさ」30.0%、「歩行者・自転車の安全性」30.6%は下位となっています。

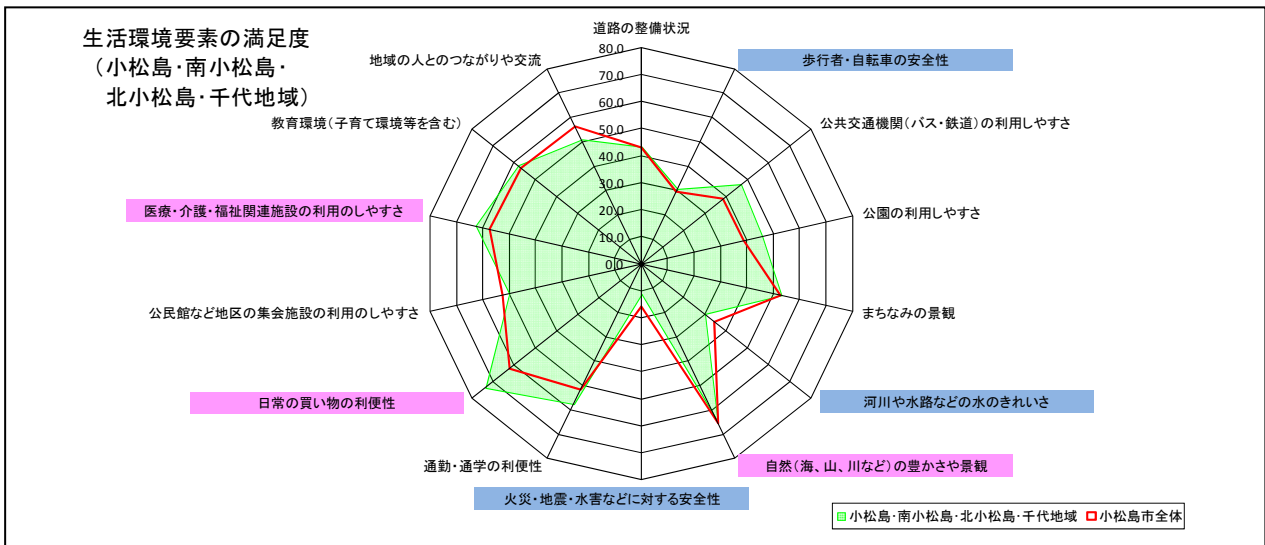


図 5-3 生活環境要素の満足度

2 生活環境要素の重要度（有効回答者数 376 人）

生活環境要素の重要度は「火災・地震・水害などに対する安全性」54.0%、「歩行者・自転車の安全性」28.2%、「医療・介護・福祉関連施設の利用のしやすさ」25.5%が上位を占めています。

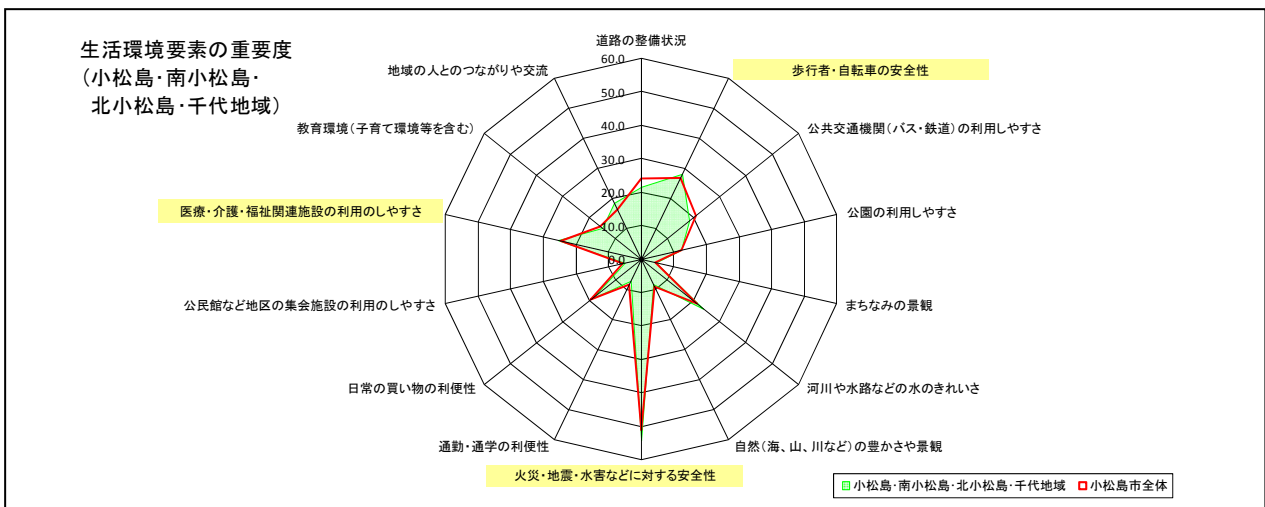


図 5-4 生活環境要素の重要度

3 まちづくりワークショップ（小松島・南小松島・北小松島・千代地域）

まちづくりワークショップの結果より、小松島・南小松島・北小松島・千代地域の主な意見やアイデアを集約し、分類ごとにまとめたところ、次のとおりとなっています。

地域の資源

●施設

「徳島赤十字病院」、「徳島県立みなと高等学園」、「神社仏閣（地蔵寺など）」、「みなと交流センターkocolo」、「公園施設（ステーションパーク、しおかぜ公園、総合グラウンド、金長公園）」、「自転車歩行者専用道路」、「競輪場」、「金磯1万トン岸壁」

●産業

「大型商業施設」、「市場の開催（水曜日、土曜日など）」、「藍商人の歴史」、「二条通商店街」、「新鮮な魚（ハモ、ガザミなど）」、「水産加工品（ちくわ、フィッシュカツ、かまぼこなど）」

●自然

「地下水（地蔵寺の宝寿水、JR南小松島駅前ののぞみの泉など）」、「横須海岸」、「金磯海岸」、「弁財天」、「日ノ峰山」、「ハナミズキ」、「桜」

●イベント・文化

「祭り（港まつり、横須蛭子神社秋祭りなど）」、「豪華客船の寄港」

地域の課題

●都市基盤

「道路が狭い」、「街灯が少ない」、「大雨の排水が悪い」、「金磯地区整備基金が活かされていない」、「市街化区域内農地の問題」、「公園が少ない」

●産業

「商店街に空き店舗・空き地が増加」、「働ける場が少ない」、「会社・工場が少ない」

●防災

「海岸に近く地震・津波が心配」、「古い家が多い」、「避難場所がない」、「防潮堤が低い」

●コミュニティ

「人口減少・少子高齢化」、「マナーの低下（ゴミ捨て、ペットのふん、交通マナー）」、「防犯パトロールの人員不足」、「ご近所との関係が希薄で人付き合いが難しい」、「若者の市政参加が少ない」、「祭りが廃れてきている」

地域の将来像

●都市基盤

「駅、病院などを核としたコンパクトシティ」、「若い人が住みたくなり、老後も安心できるまち」、「高齢者など自家用車のない人の交通を確保」、「新たな道路整備」、「高齢者の住みやすい集合住宅の建設」、「交通事故のないまち」

●自然

「花でまちづくり（ハナミズキ、桜など）」、「日ノ峰山一体の公園整備」

●イベント・コミュニティ

「人が集まるイベントの開催」、「国際的なまちを目指す」、「空き地を活用した高齢者の集いの場」、「ボランティア活動を広げる」

●産業

「働く場となる企業」、「工場の誘致」、「空き家、空き店舗の活用による商店街の活性化」、「有名な店舗や大学の誘致」、「貸し農園など農地の有効利用」、「高齢者向けのレジャー施設の整備（温水プールなど）」、「港、海岸の活用（釣り公園、ラーメン街、海水浴場再開など）」、「競輪場の活性化」

●防災

「防災対策事業の実施（避難場所の確保、避難道路・防災公園の整備）」、「防災訓練の開催」、「防災放送設備の整備」

4 まちづくりの目標設定（小松島・南小松島・北小松島・千代地域）

全体構想における位置づけや地域の現況・特性、まちづくりワークショップの結果等を踏まえ、小松島・南小松島・北小松島・千代地域のまちづくりの目標を次のように設定します。

○現況と課題 中心市街地の活性化

本地域は大部分が市街化区域であり、市役所などの官公庁や高等学校、徳島赤十字病院や発達障がい者支援センターなどの医療・福祉施設、ステーションパークなどの公園の他、商業施設や事業所が集積し、中心市街地を形成しています。

まちづくりワークショップでは、病院や市役所、商店、駅が近くにあり便利なのが地域資源としてあげられましたが、商店街に空き店舗や空き地が増えていること、少子高齢化が進み、人間関係が希薄になっていることなどの課題が指摘されました。地域の将来像としては、駅や病院を核としたコンパクトシティの形成、空き店舗を人が集まる場として活用することなどが提案されました。

○目標 多様な世代が活動し、交流するにぎわいのあるまちづくり

徳島赤十字病院や駅を核として、若い人から高齢者まで多様な世代が仕事や買い物、通院、レクリエーションなど様々な目的で活動し、交流する、にぎわいのある中心市街地の形成を図ります。

○現況と課題 道路や下水道等の整備

本地域は都市計画道路芝生日ノ峰線などの幹線道路や駅、市内外への路線バスなど、比較的利便性の高い地域ですが、公共下水道が整備中であり、未着手の都市計画道路や都市計画公園があります。また、本地域は沿岸部に面しており、南海トラフ巨大地震等による津波浸水が予想されることから、防災対策も重要となっています。

まちづくりワークショップでは、生活利便性の高さが地域資源としてあげられましたが、都市計画道路や公共下水道が未整備であること、津波対策や大雨・高潮による浸水対策、金磯地区整備基金の活用などが課題としてあげられています。地域の将来像として、避難路にもなる新たな道路整備や避難場所の確保、インフラの整備により若者も高齢者も安心して住めるまちづくりなどが提案されました。

○目標 災害に強く安全で快適に暮らせるまちづくり

防災機能を高める都市計画道路の整備や公共施設の耐震化の推進、災害に強い土地利用の推進により都市の安全性を向上するとともに、公共下水道などの都市施設を計画的に整備し、災害に強く安全で快適に暮らせるまちづくりを推進します。

○現況と課題 産業の振興

本地域では工場の撤退や旅客航路の廃止、徳島赤十字病院移転を核とした市街地再開発事業などにより産業構造が大きく変化しています。

まちづくりワークショップでは、市街地再開発事業による徳島赤十字病院移転や大型店舗の立地、豊かな漁場がもたらす新鮮な魚やちくわなどの水産加工品が地域資源としてあげられましたが、漁業の担い手不足、会社や工場の減少で働く場が減っていることが課題となっています。また、地域の将来像として、働く場となる企業や工場の誘致、人が集まる有名な店舗や大学、高齢者向けのレジャー施設の誘致などが提案されました。

○目標 産業活動を支える土地利用と都市基盤整備を進めるまちづくり

用途地域の指定に基づき、市街化区域内の工業ゾーンや複合機能ゾーンへの産業集積を促進するとともに、都市計画道路の整備による企業活動の利便性向上を図り、産業活動を支える土地利用と都市基盤整備を推進します。

○現況と課題 良好な自然環境

本地域は港や海岸などの良好な水辺や日ノ峰山などの自然が身近にあり、日峰大神子広域公園やしおかぜ公園、ステーションパークなどは市民のレクリエーションや憩いの場となっています。

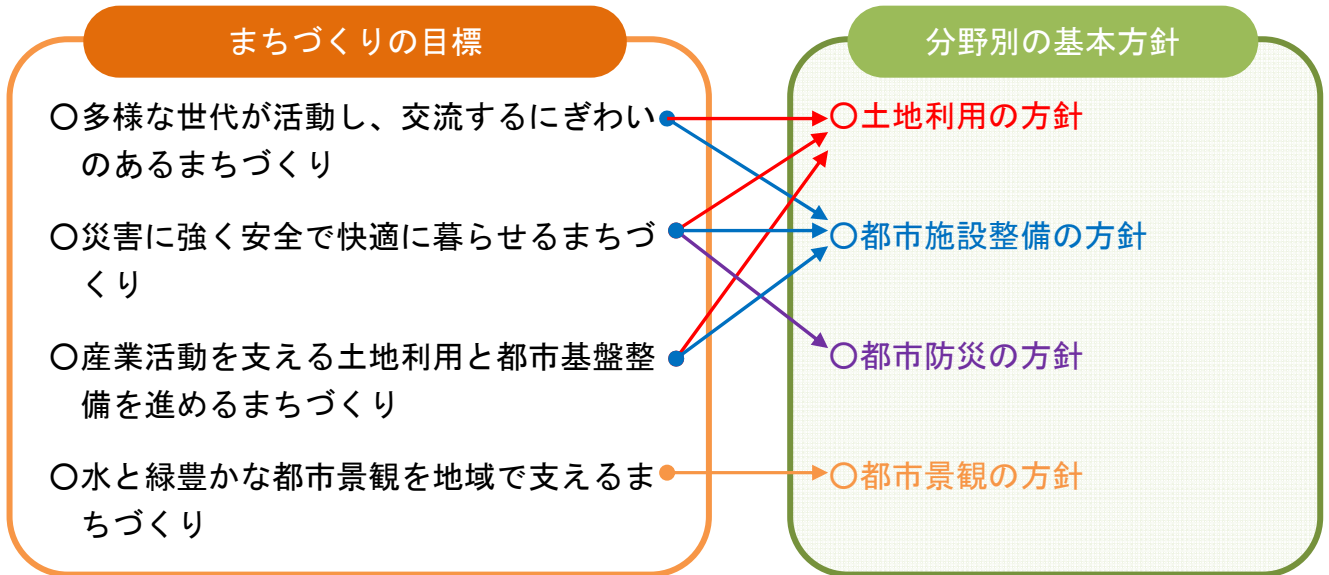
まちづくりワークショップでは、日ノ峰山や横須・金磯海岸、JR 南小松島駅前などの地下水、地藏寺などの歴史的建造物、桜やハナミズキ、豪華客船の入港などが地域資源としてあげられましたが、公園でのゴミのポイ捨てやペットのマナー、除草が不十分などの課題が指摘されました。地域の将来像として、花を活かしたまちづくり、ボランティア活動の推進、貸し農園など農地の有効活用などが提案されました。

○目標 水と緑豊かな都市景観を地域で支えるまちづくり

風致地区の指定による自然環境の保全と、ゆとりある公園や歩道の整備を進め、それらの公共空間については地域の住民や事業所との協働による美化の推進、マナー意識啓発を図り、水と緑豊かな都市景観を地域で支えるまちづくりを推進します。


5 まちづくりの方針（小松島・南小松島・北小松島・千代地域）

まちづくりの目標を実現するため、小松島・南小松島・北小松島・千代地域のまちづくりの方針を次のように示します。




○土地利用の方針

種 類	内 容
居住ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ○道路や下水道等の都市施設の計画的な整備による安全で快適な住環境の向上を図るとともに、周辺環境との調和に配慮しながら小規模な店舗や事業所の立地を許容し、利便性の高い住宅地の形成を図ります。 ○津波浸水想定を踏まえ、第1種低層住居専用地域等について、建築高さ規制の緩和や用途地域の見直し等を実施し、災害に強い安全・安心な住宅地の形成を図ります。 ○都市における緑の保全や緑化推進、都市公園の適切な配置等により、緑豊かで自然環境と調和したゆとりある住宅地の形成や防災空間の確保を図るとともに、市街化区域内農地については、良好な都市環境の形成や防災・減災の観点からも、保全を視野に入れながら、計画的な利用を図ります。 ○近年増加しつつある空き地、空き家、空き店舗等については、防災・防犯や定住促進、中心市街地活性化などの観点から、その土地及び建物の有効利用等を検討し、良好な住宅地の形成を図ります。

中心拠点となる都市機能の集積	○JR 南小松島駅周辺は、快適な市民生活に必要な都市機能（医療・福祉、子育て支援、商業・業務、教育・文化、行政など）のさらなる集積を促すとともに、人・モノ・情報などの交流を促進し、にぎわいと活力ある中心市街地の形成を図ります。
医療福祉の充実	○徳島赤十字病院や発達障がい者総合支援ゾーンなどの医療・福祉の拠点地域等は、適切な用途地域の指定や地区計画の活用、土地の高度利用等を図るとともに、周辺の住宅地等と連携した魅力ある中心市街地の形成を図ります。
工業立地基盤の充実	<p>○徳島小松島港の臨海地域は、工業の利便性を図るとともに、農林水産業や商業、観光などと連携し、既存産業の活性化や新たな産業の育成と企業誘致を促進します。また、社会経済情勢や産業構造の変化等に対応しながら必要に応じて、用途地域の見直し等を実施し、周辺環境に配慮した計画的な土地利用を図ります。</p>  <p style="text-align: center;">徳島小松島港臨海地域 【日ノ峰山から南東方向】</p>
計画的で秩序ある土地利用	○国道 55 号沿道周辺の地域は、農業や自然環境との健全な調和を図った上で、地区計画等の活用により、地域の利便性向上や産業の活性化を図りつつ、津波避難機能を備えた施設を適切に配置することで、計画的で秩序ある安全・安心な土地利用を図ります。

○都市施設整備の方針


種類	内容
四国横断道と都市中心拠点の連結	○中心部や本港地区と国道 55 号、四国横断自動車道の小松島 IC（仮称）を結ぶ「都市計画道路江田小松島港線」の整備を推進します。
物流促進	○徳島小松島港本港地区、金磯地区などの港湾部と、国道 55 号、四国横断自動車道小松島 IC（仮称）を連結する「都市計画道路江田小松島港線」及び「都市計画道路月ノ輪金磯線」の整備により物流を促進し、企業誘致や既存産業の活性化、港湾機能の強化を図ります。
地域間の連携	○徳島小松島港金磯地区と国道 55 号を結ぶ「都市計画道路月ノ輪金磯線」は、地域の利便性の向上や沿岸地域から内陸部への避難路として、整備を推進します。

<p>安全な歩行者・自転車空間のネットワーク形成</p>	<p>○中心部と国道 55 号を結ぶ「都市計画道路芝生日ノ峰線」、また、同路線から JR 南小松島駅前を経由し市役所まで横断する「都市計画道路小松島金磯線」を骨格とした道路ネットワークの形成により、都市機能のさらなる集積を促すとともに、子どもから高齢者まで誰もが気軽にまちに出て、安心して生活できるよう、歩道の段差解消や点字ブロックの設置などのバリアフリー化を推進し、安全に利用できる歩行者空間のネットワーク形成を図ります。</p> <p>○市民の健康づくりや憩い、散策の場として機能するよう「都市計画道路芝生日ノ峰線」や「都市計画道路中田駅新港線」（自転車歩行者専用道路）などは、周辺景観と調和したまちなみづくりに取り組み、魅力ある都市景観の形成を図ります。</p> <p>○安全で快適な日常生活や災害時における避難経路を確保するため、狭あい道路等の拡幅を図ります。</p> <p>○安全で安心できる交通環境を実現するため、通学路などの危険箇所の改善を図るとともに、ガードレール、カーブミラーなどの交通安全施設の整備を推進します。</p> <p>○通学路の安全確保に向けた取組みを推進するため、教育委員会や警察、道路管理者（国・県・市）などの関係機関が連携し、通学路の安全対策を図ります。</p>	 <p>都市計画道路芝生日ノ峰線</p>
<p>交流空間の整備</p>	<p>○子どもから高齢者まで世代を超えて交流し、レクリエーション活動等を行うことができる生活空間として、日峰大神子広域公園やステーションパーク、しおかぜ公園の保全・整備を進め、人々の交流による、にぎわいのある中心市街地の形成を図ります。</p> <p>○中心市街地につながる徳島小松島港本港地区は、まちの特性である港の景観を活かし、うるおいと個性ある環境・景観づくりを進め、本港地区と中心部の交流・連携により、人の流れを活発にし、中心市街地の活性化を図ります。</p>	 <p>たぬき広場 【小松島ステーションパーク】</p>

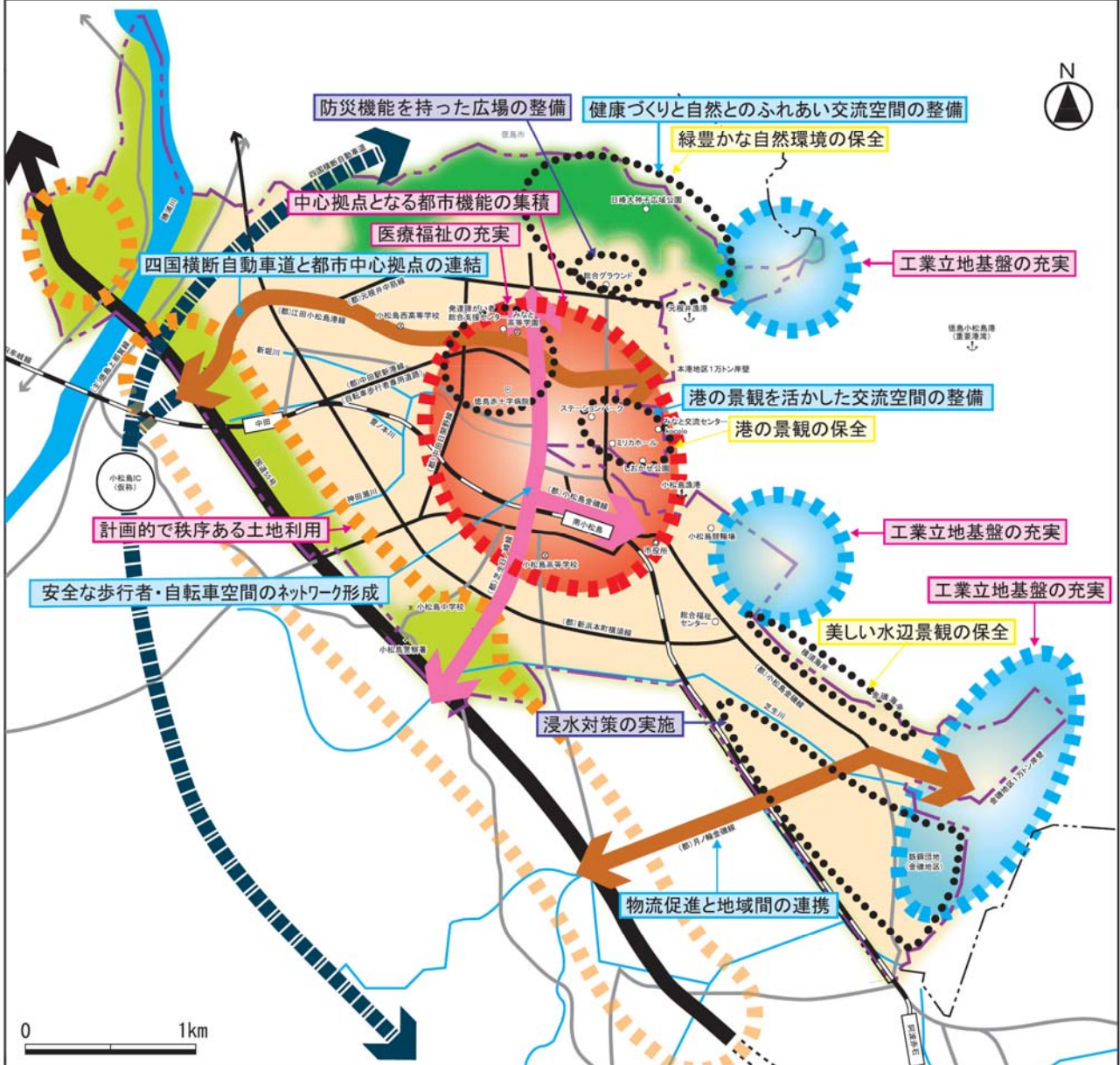
○都市防災の方針

種 類	内 容
防災機能を持った広場の整備	<p>○市総合グラウンドは、市民の健康づくりや憩い、交流の場として整備を進めるとともに、防災機能を持った広場の整備を推進します。</p>  <p style="text-align: center;">総合グラウンド</p>
避難場所の整備	<p>○避難場所を確保するため、公共施設の積極的な活用や民間施設との連携を図ります。</p>
避難路の整備	<p>○災害時でも安全で円滑な通行を確保するため、都市計画道路をはじめ、避難場所に続く道路や迂回路などの避難経路について、道路管理者である国・県・市が連携し、整備を推進します。</p>
浸水・土砂災害対策	<p>○川北地区や金磯地区等において、雨水排水施設の整備を進め、台風や局地的な集中豪雨などによる浸水被害の防止・軽減を図ります。</p> <p>○土石流や急傾斜地崩壊等の土砂災害が発生するおそれのある区域は、砂防施設の整備を図ります。</p>  <p style="text-align: center;">小松島雨水ポンプ場</p>

○都市景観の方針

種 類	内 容
緑豊かな自然環境・美しい水辺景観の保全	<p>○日峰大神子広域公園の緑豊かな自然環境や、金磯海岸などの景勝に優れた美しい海岸線の地域は、風致地区の指定により、趣のある自然の風景を維持し、緑豊かで落ち着いた住環境の形成を図るとともに、周辺環境の変化等に応じ、指定地区の見直しを図ります。</p> <p>○徳島小松島港本港地区の景観を活かし、港湾整備と一体的な個性ある環境・景観づくりを図ります。</p> <p>○道路や公園などの公共空間について、美化・緑化などの地域活動を支援し、協働による良好な景観形成を図ります。</p>  <p style="text-align: center;">リフレッシュ瀬戸内の海浜清掃 【横須・金磯海岸】</p>

まちづくり方針図[小松島・南小松島・北小松島・千代地域](概ね20年後)



まちづくりの目標

- 多様な世代が活動し、交流するにぎわいのあるまちづくり
- 災害に強く安全で快適に暮らせるまちづくり
- 産業活動を支える土地利用と都市基盤整備を進めるまちづくり
- 水と緑豊かな都市景観を地域で支えるまちづくり


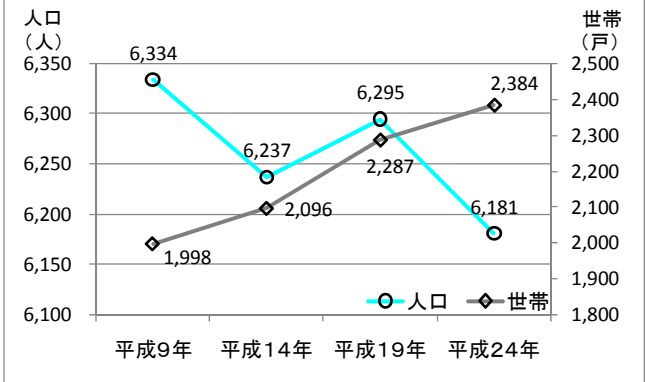
凡 例

	居住ゾーン		田園ゾーン		四国横断自動車道
	複合機能ゾーン		山林ゾーン		都市計画道路
	工業ゾーン		郊外計画的土地利用ゾーン		その他の主要道路
	都市中心軸				鉄道
	物流軸				河川
					地域境界
					行政区境界

図 5-5 まちづくり方針図[小松島・南小松島・北小松島・千代地域](概ね 20 年後)

2 児安・芝田地域のまちづくり

1 地域の現況・特性

<p>地域の概況</p>	<p>○「児安小学校区」、「芝田小学校区」の2つの小学校区で構成します。</p> <p>○本市の西部に位置し、徳島市と接しています。</p> <p>○地形は、本地域の中央部から北部にかけて平地となっており、南西部は丘陵地帯となっています。</p> 															
<p>人口及び世帯数</p>	<p>○本地域の人口及び世帯数は、平成24年3月末現在の住民基本台帳より、6,181人、2,384戸となっています。平成14年から平成19年にかけて、人口は増加していますが、平成19年から平成24年にかけては、人口は減少しています。</p>  <table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>人口 (人)</th> <th>世帯 (戸)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成9年</td> <td>6,334</td> <td>1,998</td> </tr> <tr> <td>平成14年</td> <td>6,237</td> <td>2,096</td> </tr> <tr> <td>平成19年</td> <td>6,295</td> <td>2,287</td> </tr> <tr> <td>平成24年</td> <td>6,181</td> <td>2,384</td> </tr> </tbody> </table> <p>図5-6 人口・世帯の推移（各年3月末現在の住民基本台帳より集計）</p>	年	人口 (人)	世帯 (戸)	平成9年	6,334	1,998	平成14年	6,237	2,096	平成19年	6,295	2,287	平成24年	6,181	2,384
年	人口 (人)	世帯 (戸)														
平成9年	6,334	1,998														
平成14年	6,237	2,096														
平成19年	6,295	2,287														
平成24年	6,181	2,384														
<p>土地利用</p>	<p>○本地域の全域が市街化調整区域に指定されており、農地や山林などの自然的土地利用が大部分を占めています。</p> <p>○平地では、集団的な農地が広がっているほか、まとまりのある住宅地が点在しています。</p> <p>○国道55号の沿道の一部では、商業施設等が立地しています。</p>															
<p>都市施設</p>	<p>○国道55号、主要地方道小松島佐那河内線、一般県道宮倉徳島線などが本地域内を通っています。</p>															

2 市民アンケート調査（児安・芝田地域）

市民アンケート調査結果より、お住まいの地域（小学校区）の生活における満足度、重要度について、児安・芝田地域で集計したところ、次のとおりとなっています。

1 生活環境要素の満足度（有効回答者数 146 人）

生活環境要素の満足度は「自然の豊かさや景観」79.6%、「地域の人とのつながりや交流」69.2%、「教育環境」63.4%が上位を占めています。一方で、「歩行者・自転車の安全性」14.9%、「公共交通機関の利用のしやすさ」23.4%、「道路の整備状況」28.1%が下位を占めています。

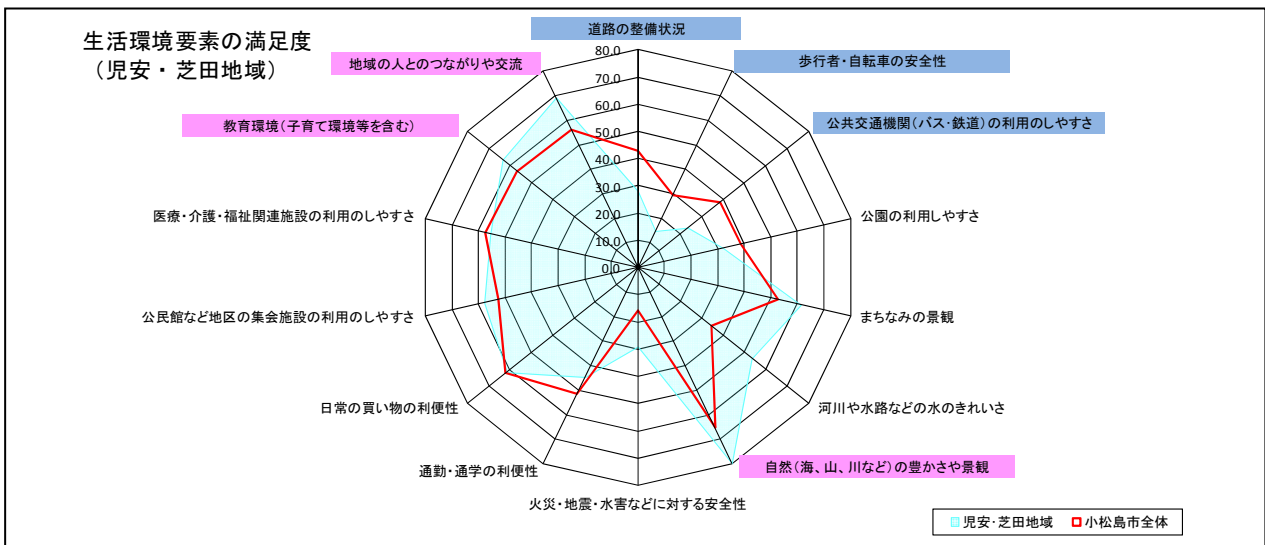


図 5-7 生活環境要素の満足度

2 生活環境要素の重要度（有効回答者数 117 人）

生活環境要素の重要度は「道路の整備状況」39.3%、「歩行者・自転車の安全性」38.5%、「火災・地震・水害に対する安全性」38.5%が上位を占めています。

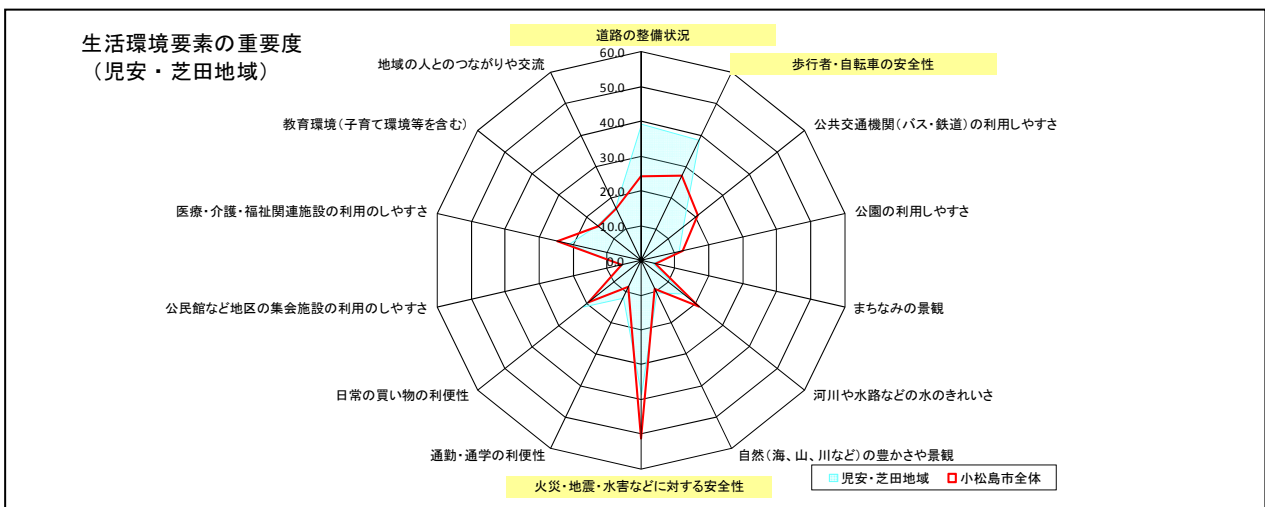


図 5-8 生活環境要素の重要度

3 まちづくりワークショップ（児安・芝田地域）

まちづくりワークショップの結果より、児安・芝田地域の主な意見やアイデアを集約し、分類ごとにまとめたところ、次のとおりとなっています。

地域の資源

- 施設
「恩山寺（四国八十八箇所十八番札所）」
- 産業
「農業（お米、阿波牛）」
- 自然
「田畑」、「きれいな水」、「ほたる」、「静か」、「水車」、「清浄ヶ池」、「里山」、「野鳥」
- イベント・文化
「源平史跡（旗山、義経ドリームロード※など）」、「義経騎馬像」、「新居見遺跡」、「高瀬舟の歴史」、「天王社稚児三番そう」

地域の課題

- 都市基盤
「道路の幅員が狭い」、「児安小学校の通学路は歩道がなくダンプカーが多いので危険」、「子どもの遊び場が少ない」、「公共交通機関が少なく自家用車がないと不便」、「排水路の整備が必要」、「地域に図書館などの文化施設がない」
- 産業
「会社が少なくなっている」、「住宅団地が多く農業がしづらくなった」、「農業の後継者不足」、「有害鳥獣による農作物の食害」
- 防災
「勝浦川の防災対策が心配」、「堤防の老朽化」
- コミュニティ
「イベントが少ない」、「人付き合い難しくなった」

地域の将来像

- 都市基盤
「住んでいる人がいきいきできて、安心して歳をとれる地域づくり」、「道路の拡幅整備」、「子どもが遊べる公園整備」、「予防医療のためのウォーキングコースの整備」、「環境衛生センターの焼却熱を利用した温泉施設整備」
- 自然
「自然豊かなほたるのいる静かなまち」、「古墳等を活かした観光」
- イベント・コミュニティ
「防犯活動に力を入れる」、「都市との交流」
- 産業
「企業誘致（IT企業など）」、「農業の発展、特産品づくり」、「義経像や歴史的な伝承を活かした市場づくり」、「日本一のものをつくる」、「小松島ブランドの育成」、「地域の雇用確保」
- 防災
「高台などに宅地をつくる」、「地震災害に強いまちづくり（防災公園など）」、「防災堤防の補強で安全なまち」

4 まちづくりの目標設定（児安・芝田地域）

全体構想における位置づけや地域の現況・特性、まちづくりワークショップの結果等を踏まえ、児安・芝田地域のまちづくりの目標を次のように設定します。

○現況と課題 農業と調和した暮らし

本地域は全域が市街化調整区域であり、ほ場整備された優良農地が広がり、県道沿いなどに田園集落が形成されています。

まちづくりワークショップでは、お米や阿波牛などの農産物や田畑などが地域資源としてあげられましたが、少子高齢化による農業の後継者不足や、会社など雇用の場の減少、田園に住宅団地が増えて農業がしづらくなったという課題も指摘されています。また、地域の将来像として、農業の発展や特産品づくり、住んでいる人がいきいきでき、安心して歳をとれる地域づくり、コミュニティを活かした防犯活動などが提案されています。

○目標 農業と調和する田園居住型のまちづくり

地域の主要な産業である農業の活性化を促進するとともに、農業との健全な調和を図った上で、良好な住環境の形成やコミュニティ維持を図ります。

○現況と課題 交通環境の改善

本地域には広域幹線道路である国道 55 号が整備されていますが、田園集落を繋ぐ生活道路は幅員が狭く、歩道はほとんどありません。また、鉄道駅から離れているため、公共交通機関は路線バスやタクシーに限られています。

まちづくりワークショップでは、地域の課題として大型車の交通量が多い児安小学校の通学路に歩道がなく危険であることや、自家用車がないと不便であることなどが指摘され、地域の将来像として道路の拡幅整備がなされ、都市との交流促進をはかることなどが提案されています。

○目標 人にやさしい交通環境を形成するまちづくり

児童の通学路をはじめとした生活道路における安全な歩行者空間の確保や狭あい道路の改善を図るとともに、公共交通との連携により都市部との交流を促し、人にやさしい交通環境の形成を図ります。

○現況と課題 治水安全度の向上

本地域は勝浦川や田野川などの河川を有し、農地には排水路が張り巡らされているなど、豊富な水資源に支えられた地域です。

まちづくりワークショップでは、ほたるが住むきれいな水などが地域資源としてあげられましたが、未改良の排水路や勝浦川の防災対策などが課題として指摘されています。

○目標 治水対策により、安心して暮らせるまちづくり

河川整備計画に基づく河川改修などの治水対策を進め、安心して暮らせるまちづくりを推進します。

○現況と課題 観光・地域資源の活用

本地域は田園などの農地や里山といった豊かな自然環境を有しており、また旗山や恩山寺などの歴史的資源もあります。

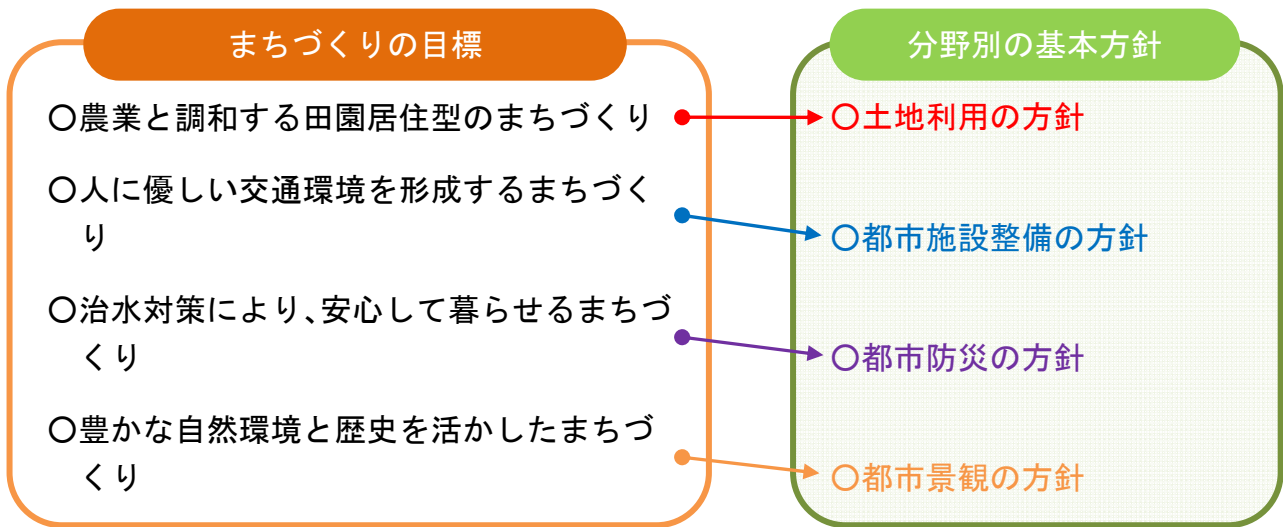
まちづくりワークショップでは、里山や水車などの田園風景や恩山寺、源平史跡などが地域資源としてあげられ、地域の将来像として観光や健康づくりのためのウォーキングコースの設定、歴史的な伝承を活かした市場づくりなども提案されています。

○目標 豊かな自然環境と歴史を活かしたまちづくり



周辺環境と調和した景観づくりに配慮し、風致地区をはじめとした良好な自然環境の維持保全や遍路道、義経ドリームロードなどの歴史的資源の活用を図ります。

5 まちづくりの方針（児安・芝田地域）

まちづくりの目標を実現するため、児安・芝田地域のまちづくりの方針を次のように示します。



○土地利用の方針

種 類	内 容
優良農地の 保 全	<p>○平野部に広がる優良農地は、ほ場整備や農業水利施設等の整備により農業生産性の向上や農業経営の安定を図り、地域産業の活性化を促進します。</p>  <p>優良農地【国道 55 号の東側】</p>
田園居住地 の生活基盤 整 備	<p>○田園集落などの地域は、既存集落と自然が育む環境を大切にし、農業生産性の向上に向けた環境整備を進めることを基本としながら、良好な住環境の形成や地域コミュニティ維持のため、農業との健全な調和を図った上で、道路等の施設整備や空き家対策の実施、地区計画等の活用を図ります。</p>  <p>水車【田浦町】</p>
計画的で 秩序ある 土地 利用	<p>○国道 55 号沿道周辺の地域は、農業や自然環境との健全な調和を図った上で、地区計画等の活用により、地域の利便性向上や産業の活性化を図りつつ、津波避難機能を備えた施設を適切に配置することで、計画的で秩序ある安全・安心な土地利用を図ります。</p>

○都市施設整備の方針

種 類	内 容
交通安全対策の強化	<p>○安全で快適な日常生活や災害時における避難経路を確保するため、狭あい道路等の拡幅を図ります。</p> <p>○安全で安心できる交通環境を実現するため、主要地方道小松島佐那河内線の通学路などの危険箇所の改善を図るとともに、ガードレール、カーブミラーなどの交通安全施設の整備を推進します。</p> <p>○通学路の安全確保に向けた取組みを推進するため、教育委員会や警察、道路管理者（国・県・市）などの関係機関が連携し、通学路の安全対策を図ります。</p>
地域間の連携強化	<p>○「都市計画道路月ノ輪金磯線」などの主要幹線道路の整備を推進し、地域の利便性向上や地域間の交流促進を図ります。</p>



主要地方道 小松島佐那河内線
【児安小学校付近】



二級河川 田野川

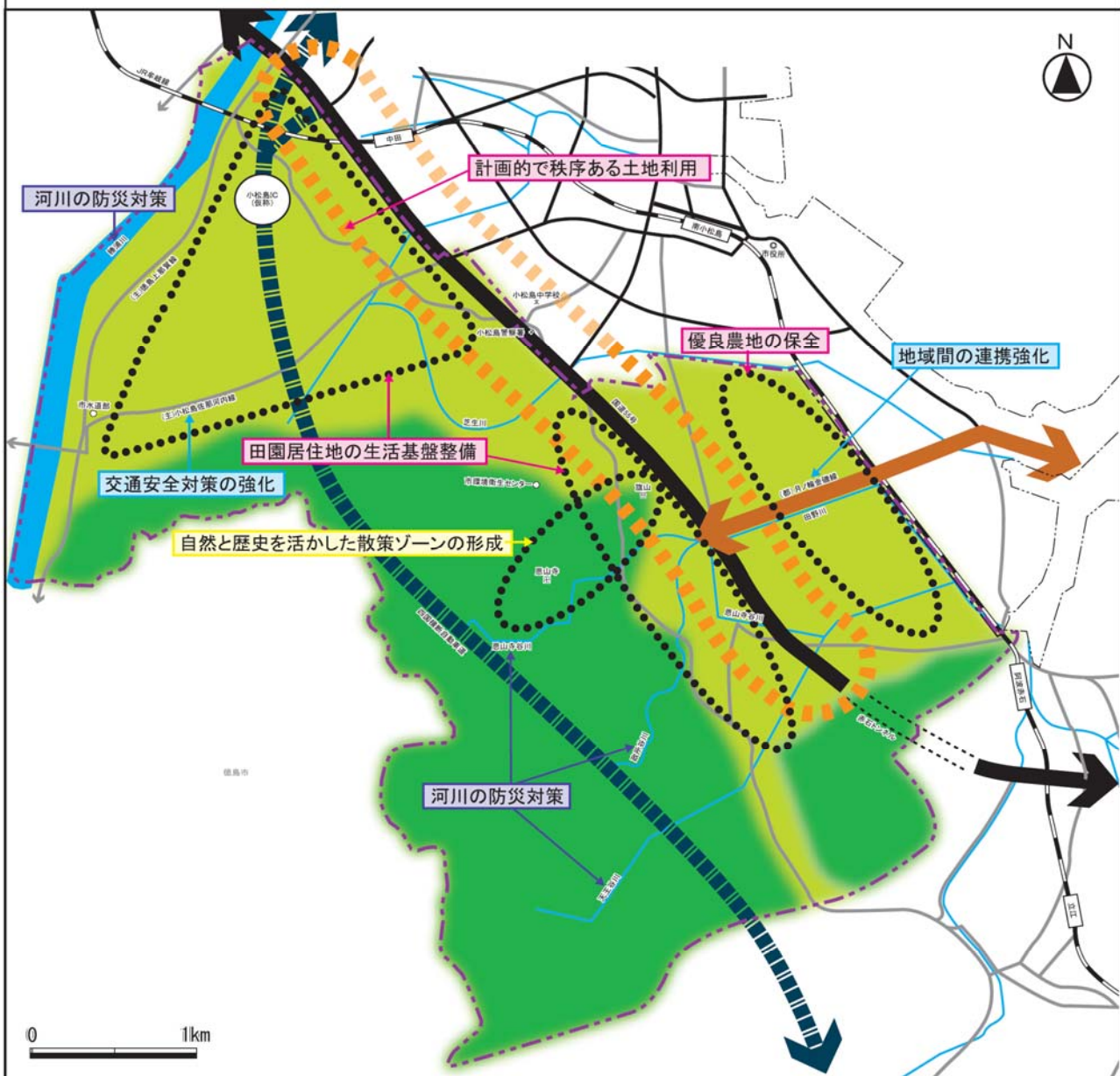
○都市防災の方針

種 類	内 容
河川の防災対策	<p>○河川の氾濫、浸水などの災害に対する安全度を高めるため、徳島県と連携し、河川の改修事業を推進します。</p> <p>○田野川などの立江川水系については二級河川立江川水系河川整備計画に基づいた整備を推進し、勝浦川水系については、地域住民の意見を反映した河川整備計画の早期策定を推進します。</p>

○都市景観の方針

種 類	内 容
<p>自然と歴史 を活かした 散策ゾーン の 形 成</p>	<p>○旗山や恩山寺周辺の趣のある自然景観を形成している地域は、風致地区の指定により、趣のある自然の風景を維持し、緑豊かで落ち着いた住環境の形成を図るとともに、周辺環境の変化等に応じ、指定地区の見直しを図ります。</p> <p>○市民生活にうるおいをもたらす緑地資源として、恩山寺自然公園の緑豊かな自然環境や緑広がる田園風景など、景勝に優れた美しい魅力ある景観を保全するとともに、旗山や恩山寺、義経ドリームロードなどの歴史的建造物や史跡の資源は、周辺環境に配慮しながら保全を図り、緑豊かな美しい自然景観と歴史的景観を活用した観光・交流のまちづくりを推進します。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>義経夢想祭【旗山】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>恩山寺 (四国八十八箇所十八番札所)</p> </div> </div>

まちづくり方針図[児安・芝田地域](概ね20年後)



まちづくりの目標

- 農業と調和する田園居住型のまちづくり
- 人にやさしい交通環境を形成するまちづくり
- 治水対策により、安心して暮らせるまちづくり
- 豊かな自然環境と歴史を活かしたまちづくり


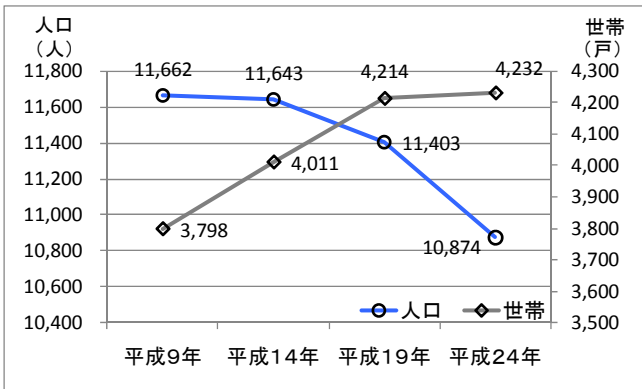
凡 例

	田園ゾーン		四国横断自動車道
	山林ゾーン		都市計画道路
	郊外計画的土地利用ゾーン		その他の主要道路
	物流軸		鉄道
			河川
			地域境界
			行政区境界

図 5-9 まちづくり方針図[児安・芝田地域] (概ね 20 年後)

3 坂野・和田島・新開地域のまちづくり

1 地域の現況と特性

<p>地域の概況</p>	<p>○「坂野小学校区」、「和田島小学校区」、「新開小学校区」の3つの小学校区で構成します。</p> <p>○本市の東部に位置し、阿南市と接しています。</p> <p>○地形は、全域が平地となっており、北部に海岸部を有しています。</p> 															
<p>人口及び世帯数</p>	<p>○本地域の人口及び世帯数は、平成24年3月末現在の住民基本台帳より、10,874人、4,232戸となっています。市全体の人口の推移と同様に、本地域においても人口減少が続いています。</p>  <table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>人口 (人)</th> <th>世帯 (戸)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成9年</td> <td>11,662</td> <td>3,798</td> </tr> <tr> <td>平成14年</td> <td>11,643</td> <td>4,011</td> </tr> <tr> <td>平成19年</td> <td>11,403</td> <td>4,214</td> </tr> <tr> <td>平成24年</td> <td>10,874</td> <td>4,232</td> </tr> </tbody> </table> <p>図 5-10 人口・世帯の推移（各年3月末現在の住民基本台帳より集計）</p>	年	人口 (人)	世帯 (戸)	平成9年	11,662	3,798	平成14年	11,643	4,011	平成19年	11,403	4,214	平成24年	10,874	4,232
年	人口 (人)	世帯 (戸)														
平成9年	11,662	3,798														
平成14年	11,643	4,011														
平成19年	11,403	4,214														
平成24年	10,874	4,232														
<p>土地利用</p>	<p>○沿岸部を主体に市街化区域が指定され、その他は市街化調整区域に指定されています。</p> <p>○市街化区域では、港湾部において工業系用途地域が指定され、JR阿波赤石駅に近接する大林町周辺については、商業系用途地域または住居系用途地域が指定されています。</p> <p>○市街化調整区域では、集団的な農地が広がっているほか、まとまりのある住宅地が点在しています。</p>															
<p>都市施設</p>	<p>○国道55号、国道55号阿南道路が通り、その他の主要な道路として、一般県道和田島赤石線、一般県道徳島小松島線、一般県道坂野羽ノ浦線などが通っています。</p> <p>○主要な公園・緑地として、JAあいさい緑地が整備されています。</p>															

2 市民アンケート調査結果（坂野・和田島・新開地域）

市民アンケート調査結果より、お住まいの地域（小学校区）の生活における満足度、重要度について、坂野・和田島・新開地域で集計したところ、次のとおりとなっています。

1 生活環境要素の満足度（有効回答者数 241 人）

生活環境要素の満足度は「自然の豊かさや景観」60.3%、「地域の人とのつながりや交流」57.0%、「医療・介護・福祉関連施設の利用のしやすさ」51.7%が上位を占めています。

一方で、「火災・地震・水害などに対する安全性」14.7%、「公共交通機関の利用のしやすさ」26.6%、「公園の利用のしやすさ」30.5%が下位を占めています。

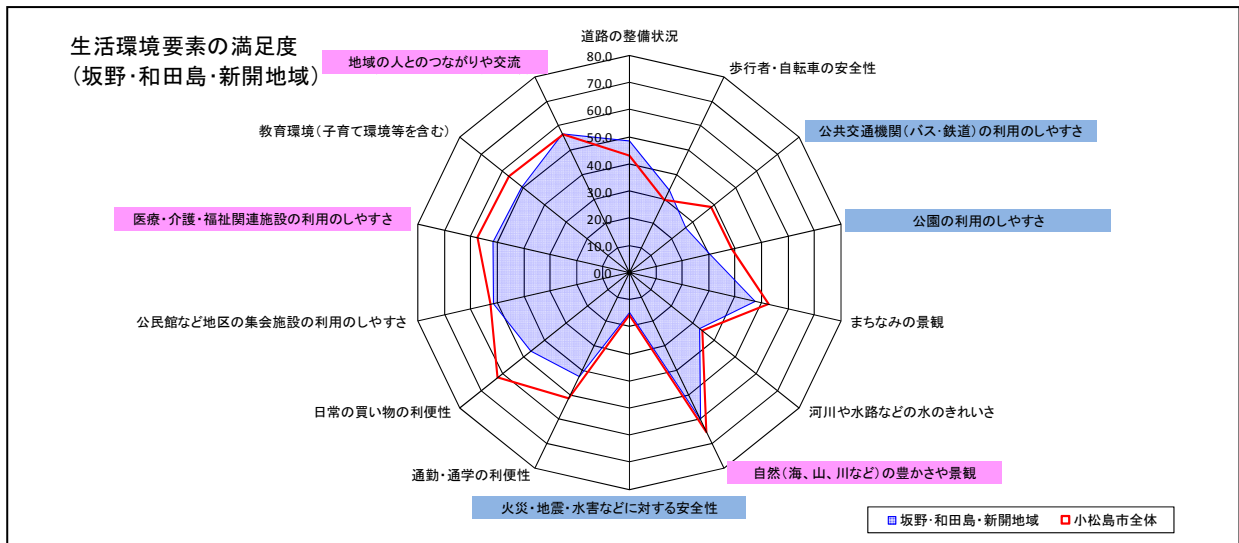


図 5-11 生活環境要素の満足度

2 生活環境要素の重要度（有効回答者数 191 人）

生活環境要素の重要度は「火災・地震・水害に対する安全性」57.1%、「公共交通機関の利用のしやすさ」33.0%、「医療・介護・福祉関連施設の利用のしやすさ」22.5%が上位を占めています。

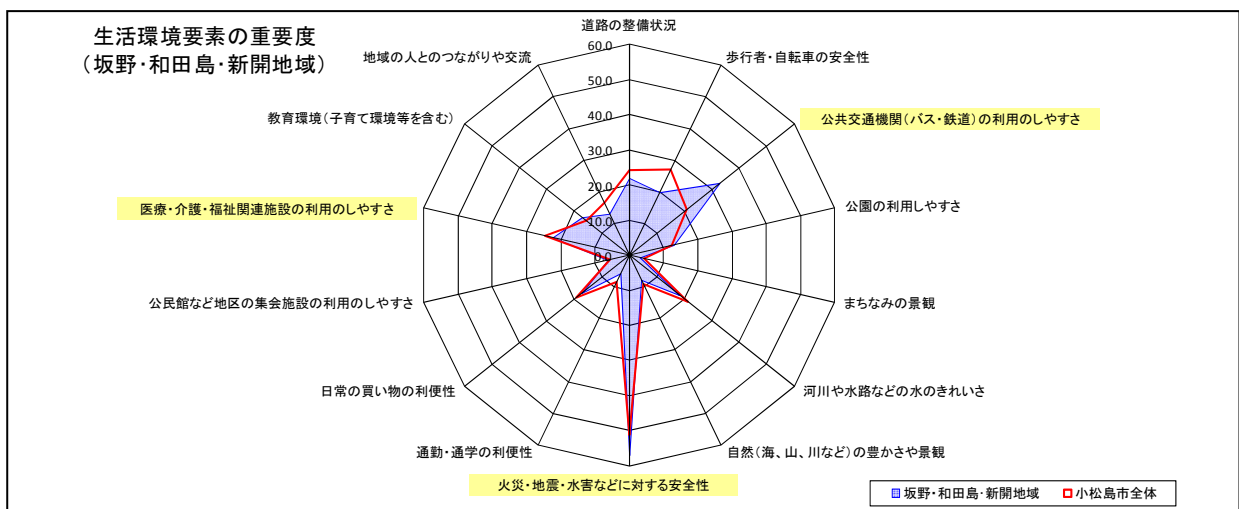


図 5-12 生活環境要素の重要度

3 まちづくりワークショップ（坂野・和田島・新開地域）

まちづくりワークショップの結果より、坂野・和田島・新開地域の主な意見やアイデアを集約し、分類ごとにまとめたところ、次のとおりとなっています。

地域の資源

●施設

「重要港湾徳島小松島港赤石公共埠頭（耐震強化岸壁）」、「コンテナターミナル」、「海上自衛隊第24航空隊」、「JA あいさい緑地（和田島緑地）」、「小松島ニュータウンの下水道施設」、「市立体育館」、「武道館」、「運動広場」、「国道55号阿南道路」、「JR阿波赤石駅」

●産業

「バッチ網漁」、「海産物（和田島ちりめん、釜揚げしらす、わかめなど）」、「農作物（お米、きゅうり、トマトなど）」、「阿波製紙などの企業」

●自然

「海岸道路の景色」、「田園風景」

●イベント・文化

「釣り」、「根上り松（今はない）」、「地域のコミュニティ」、「伝統の祭り」

地域の課題

●都市基盤

「生活道路が狭く道路整備が必要」、「バスが少なく駅から遠い」、「農道などの農業環境整備が必要」、「市街化調整区域なので住宅が建てにくい」、「市街化区域内農地の問題」、「コンビニやパチンコなどの施設が多く、景観が悪くなっている」、「下水道が未整備である」

●産業

「地域産業（漁業など）が低迷している」、「企業が少なく雇用がない」、「飲食店がほとんどない」

●防災

「高台がなく津波が心配」、「和田島の太田橋に交通が集中しており防災面で不安」、「防災の視点での道路が未整備（バイパス道路の必要性）」

●コミュニティ

「人が集まるイベントが少ない」、「マナーの低下（ゴミ捨て、交通マナー）」、「高齢者は買い物不便」、「未婚者が多く婚活が必要」、「中学校が統合で地域からなくなる」

地域の将来像

●都市基盤

「安全な生活道路の整備」、「農地の宅地化により人口増をはかる」、「路線バスの小型化や循環型バスの導入による利便性向上」、「ベッドタウン化による人口増」

●自然

「豊かな田園風景や自然を大事にしたまちづくり」、「景観の美しさを県外にPR」

●イベント・コミュニティ

「協働のまちづくり」、「婚活など交流の機会の増加をはかる」、「地域住民の絆が強いまち」、「Iターン・Uターン*の促進」

●産業

「漁業・農業の6次産業化*」、「漁業と観光の連携（イベントの開催、体験型観光など）」、「大型商業施設誘致」、「港の整備と有効活用（企業誘致など）」、「防災タワーと産直レストランの整備」、「地域の雇用確保」、「企業・大学の誘致」

●防災

「防災対策により安心して住めるまち」、「赤石山などの高台に住宅地をつくる」、「津波避難タワー、地下シェルターの整備」

4 まちづくりの目標設定（坂野・和田島・新開地域）

全体構想における位置づけや地域の現況・特性、まちづくりワークショップの結果等を踏まえ、坂野・和田島・新開地域のまちづくりの目標を次のように設定します。

○現況と課題 商業・業務機能の充実

本地域は沿岸部が市街化区域に指定され、商店や住宅、工場などが立地しています。特に国道 55 号沿道では阿南市など県南地域との交通の要衝として、商業施設の立地が進んでいます。

まちづくりワークショップでは、国道 55 号や JR 阿波赤石駅が近く、交通の便が良いこと、商業地として発展中であることなどが資源としてあげられています。市街化区域と市街化調整区域の境界付近では、農地が残り市街化が進んでいないなどの課題も指摘されましたが、地域の将来像として大型商業施設や企業、大学などを誘致することが提案されています。

○目標 地域の拠点となる都市機能の集積を図るまちづくり

JR 阿波赤石駅から国道 55 号と県道徳島小松島線の交差点周辺までの地域は、地域の拠点として商業・業務などの都市機能のさらなる集積を図ります。

○現況と課題 農業・漁業と調和した暮らし

本地域では近年、港湾からの輸送路となる一般県道大京原今津浦和田津線などの幹線道路が整備され、交通の円滑化が図られつつありますが、点在する田園集落や漁業集落周辺には狭い道路が多く残っています。

まちづくりワークショップでは、生活道路が狭いことや、駅から遠く、バスの運行も少ない地域では高齢者の通院や買い物が不便であること、人口の減少や市街化調整区域のため新たな住宅が建てられないことなどが課題として指摘されました。また、地域の将来像として安全な生活道路の整備や路線バスの小型化・循環型バスの導入による利便性向上、ベッドタウン化による人口増などが提案されました。

○目標 農業や漁業と調和した快適な住環境を形成するまちづくり

農業や漁業の環境に配慮しながら、良好な住環境の形成やコミュニティ維持を図るとともに、狭い生活道路の改善や交通安全対策の実施、市民が利用しやすい公共交通機関の確保により快適な住環境の形成を図ります。

○現況と課題 港湾の有効活用と産業の振興

本地域の徳島小松島港赤石公共埠頭には近年、コンテナターミナルが整備されるなど、沿岸部の工業地域における利便性向上がはかられています。また、和田島漁港を拠点とする漁業や、広大な平野を活かした農業が地域の重要な産業となっています。

まちづくりワークショップでは、地域資源として赤石公共埠頭やコンテナターミナル、和田島ちりめんなどの海産物、お米や野菜などの農産物があげられていますが、課題として漁業などの地域産業が低迷していること、企業が少なく雇用の場がないことが指摘されています。また、地域の将来像として港の整備と有効活用、生産物の加工や産直市での販売を含めた農業・漁業の6次産業化、体験型観光やイベントの開催などが提案されています。

○目標 港湾の利用増進と地域産業の活性化を促進するまちづくり

港湾施設の利用増進や農業・漁業の販売促進につながるPR活動などのソフト対策と連携し、産業環境向上につながる道路等の基盤施設整備を進め、地域産業の活性化を促進します。

○現況と課題 地震・津波に対する安全性の確保

本地域は、海岸部に接した平野部などが大部分を占め、地震・津波に対する災害に対する安全性が懸念されています。

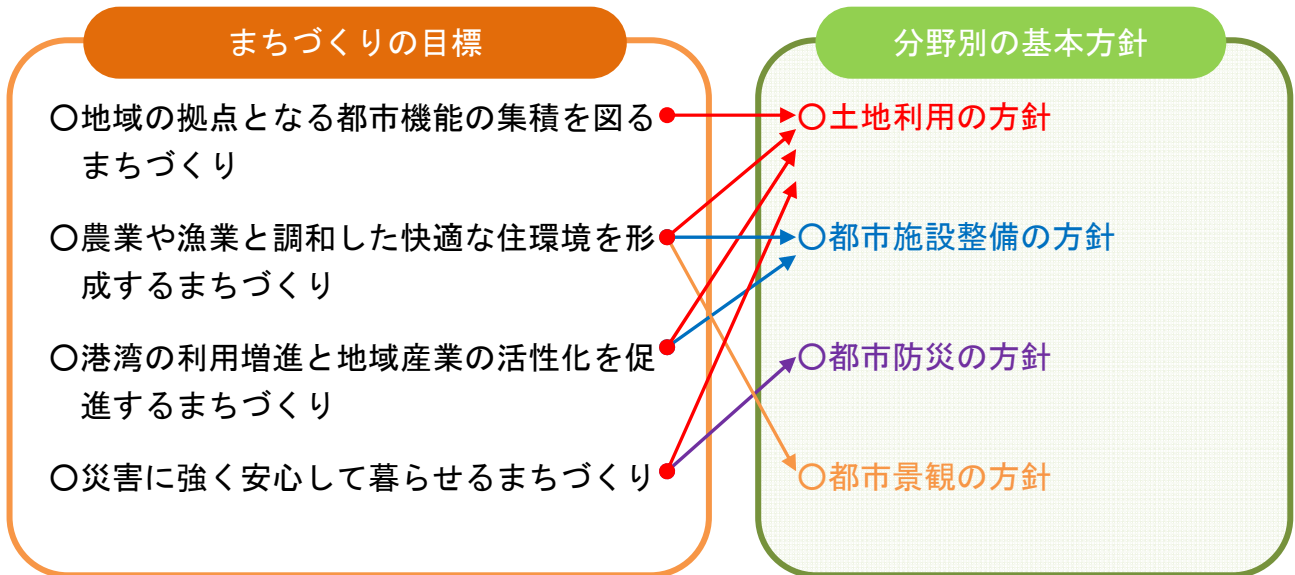
まちづくりワークショップでは、地域の課題として高台がなく津波が心配なこと、防災の視点での道路が未整備であることなどの指摘があり、地域の将来像として津波避難タワーの整備、防災対策により安心して住めるまちが提案されています。

○目標 災害に強く安心して暮らせるまちづくり

耐震岸壁や緑地が整備されている赤石公共埠頭周辺の機能強化、避難経路となる道路整備に加え、高台への避難に相当な時間を要する地域については、新たな避難施設の整備を進め、災害に強く安心して暮らせるまちづくりを推進します。

5 まちづくりの方針（坂野・和田島・新開地域）

まちづくりの目標を実現するため、坂野・和田島・新開地域のまちづくりの方針を次のように示します。



○土地利用の方針

種 類	内 容
居住ゾーン	<p>○JR 阿波赤石駅周辺や小松島ニュータウンの住宅地などは、道路や下水道等の都市施設の計画的な整備による安全で快適な住環境の向上を図るとともに、周辺環境との調和に配慮しながら小規模な店舗や事業所の立地を許容し、利便性の高い住宅地の形成を図ります。</p> <p>○津波浸水想定を踏まえ、用途地域の見直し等を実施し、災害に強い安全・安心な住宅地の形成を図ります。</p> <p>○都市における緑の保全や緑化推進、都市公園の適切な配置等により、緑豊かで自然環境と調和したゆとりある住宅地の形成や防災空間の確保を図るとともに、市街化区域内農地については、良好な都市環境の形成や防災・減災の観点からも、保全を視野に入れながら、計画的な利用を図ります。</p> <p>○近年増加しつつある空き地、空き家、空き店舗等については、防災・防犯や定住促進などの観点から、その土地及び建物の有効利用等を検討し、良好な住宅地の形成を図ります。</p>

<p>地域の拠点となる都市機能の集積</p>	<p>○JR 阿波赤石駅周辺は、快適な市民生活に必要な都市機能（医療・福祉、子育て支援、商業・業務、教育・文化、行政など）のさらなる集積を促し、地域の利便性の向上を図ります。</p>
<p>工業立地 基盤の 充 実</p>	<p>○徳島小松島港の臨海地域は、赤石地区に整備されたコンテナターミナルの活用による物流促進など工業の利便性を図るとともに、農林水産業や商業、観光などと連携し、漁港も含めた港湾部に立地する既存産業の活性化や新たな産業の育成と企業誘致を促進します。また、社会経済情勢や産業構造の変化等に対応しながら必要に応じて、用途地域の見直し等を実施し、周辺環境に配慮した計画的な土地利用を図ります。</p>
<p>優良農地の 保 全</p>	<p>○平野部に広がる優良農地は、ほ場整備や農業水利施設等の整備により農業生産性の向上や農業経営の安定を図り、地域産業の活性化を促進します。</p>
<p>田園居住地 の生活基盤 整 備</p>	<p>○農業集落や漁業集落などの地域は、既存集落と自然が育む環境を大切にし、農業・漁業生産性の向上に向けた環境整備を進めることを基本としながら、良好な住環境の形成や地域コミュニティ維持のため、農業・漁業との健全な調和を図った上で、道路等の施設整備や空き家対策の実施、地区計画等の活用を図ります。</p>
<p>計画的で 秩序ある 土地 利 用</p>	<p>○国道 55 号沿道周辺の地域は、農業や自然環境との健全な調和を図った上で、地区計画等の活用により、地域の利便性向上や産業の活性化を図りつつ、津波避難機能を備えた施設を適切に配置することで、計画的で秩序ある安全・安心な土地利用を図ります。</p>



コンテナターミナル
【徳島小松島港赤石地区】



優良農地【坂野町】



和田島 47 号線外 2 線
【海上自衛隊第 24 航空隊東側】

○都市施設整備の方針

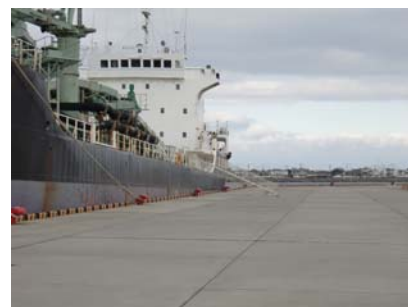
種 類	内 容
物流促進と地域間の連携	<p>○国道 55 号と徳島小松島港赤石地区を結ぶ「一般県道大京原今津浦和田津線」、「一般県道坂野羽ノ浦線」を骨格として、漁港も含めた港湾部との物流の促進による港湾機能の強化を図り、既存産業の活性化や新たな産業の育成と企業誘致を促進します。</p>
通学路の安全確保	<p>○安全で快適な日常生活や災害時における避難経路を確保するため、狭あい道路等の拡幅を図ります。</p> <p>○安全で安心できる交通環境を実現するため、通学路などの危険箇所の改善を図るとともに、ガードレール、カーブミラーなどの交通安全施設の整備を推進します。</p> <p>○通学路の安全確保に向けた取組みを推進するため、教育委員会や警察、道路管理者（国・県・市）などの関係機関が連携し、通学路の安全対策を図ります。</p>
緑地を活用した健康づくりと交流空間の形成	<p>○JA あいさい緑地などの公園・緑地は、市民の健康づくりや憩い、交流の場、また生活にうるおいをあたえる自然とのふれあいの場として、保全・整備を進め、快適な住環境の形成を図ります。</p>



あいさい球場
【JA あいさい緑地】

○都市防災の方針

種 類	内 容
耐震岸壁を核とした防災拠点の整備	<p>○耐震強化岸壁や緑地等が整備されている徳島小松島港赤石地区について、災害時に避難場所や復旧復興活動拠点となるよう、さらなる防災機能の強化を図ります。</p>



耐震強化岸壁
【徳島小松島港赤石地区】

<p>避難場所の整備</p>	<p>○避難場所を確保するため、公共施設の積極的な活用や民間施設との連携を図るとともに、既存施設の改築・改修等により、避難機能を備えた施設の整備を推進します。</p> <p>○災害時の避難場所や復旧復興活動拠点となる公園や緑地の整備を進め、耐震性貯水槽や備蓄倉庫など、防災機能を高める設備の充実を図ります。</p> <p>○高台への避難に相当な時間を要する避難困難地域については、新たな避難施設の整備を推進します。</p>
<p>避難路の整備</p>	<p>○災害時でも安全で円滑な通行を確保するため、避難場所に続く道路や迂回路などの避難経路について、道路管理者である国・県・市が連携し、整備を推進します。</p>
<p>海岸保全施設の整備</p>	<p>○防潮堤などの海岸保全施設は、高潮による浸水対策はもとより、津波発生時においても施設の効果が発揮できるよう整備を図ります。</p>

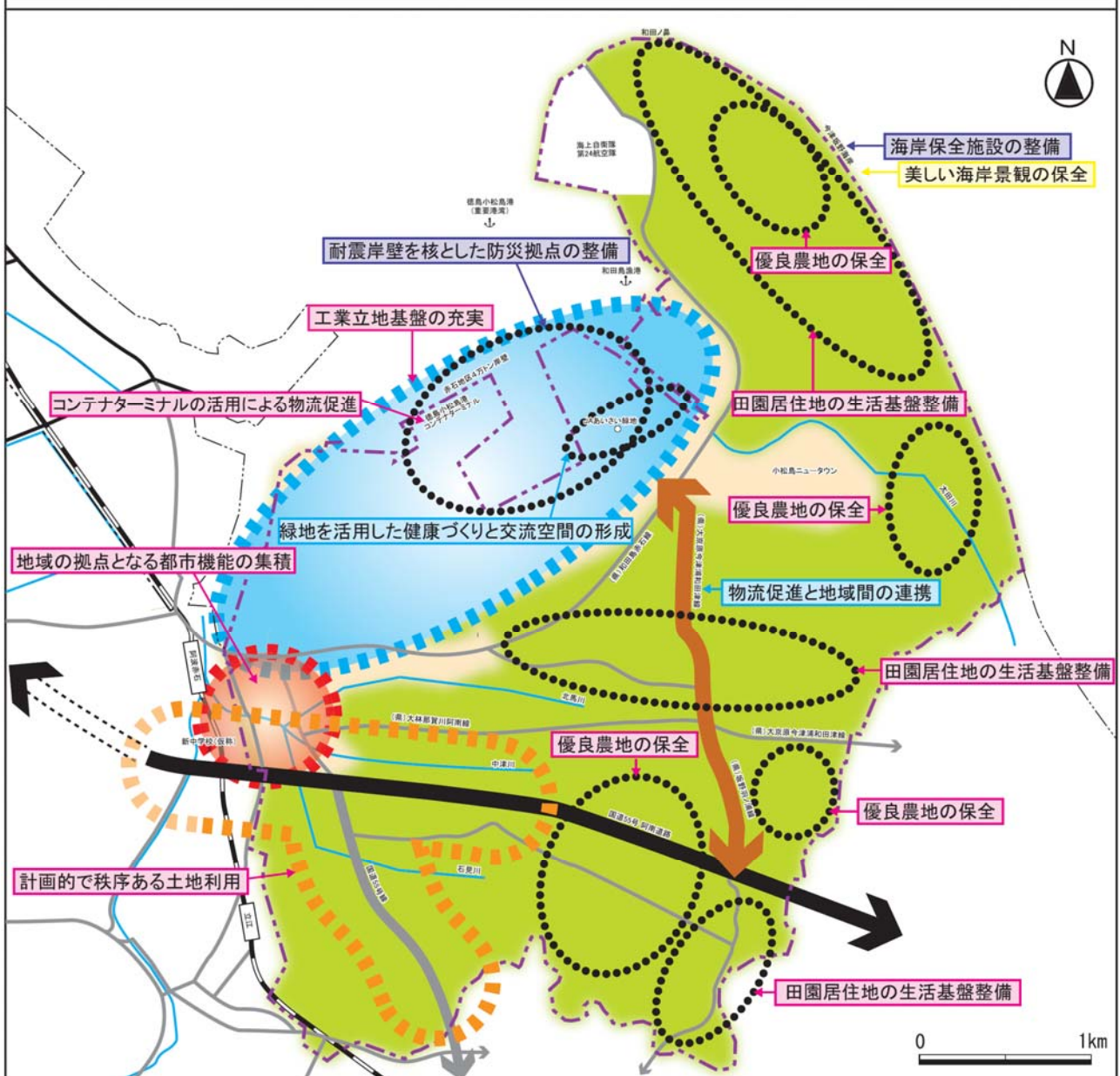


今津坂野海岸【和田島町】

○都市景観の方針

種類	内容
<p>美しい海岸景観の保全</p>	<p>○今津坂野海岸などの景勝に優れた美しい海岸や緑広がる田園風景など魅力ある景観の保全を図ります。</p>

まちづくり方針図[坂野・和田島・新開地域](概ね20年後)



まちづくりの目標

- 地域の拠点となる都市機能の集積を図るまちづくり
- 農業や漁業と調和した快適な住環境を形成するまちづくり
- 港湾の利用増進と地域産業の活性化を促進するまちづくり
- 災害に強く安心して暮らせるまちづくり


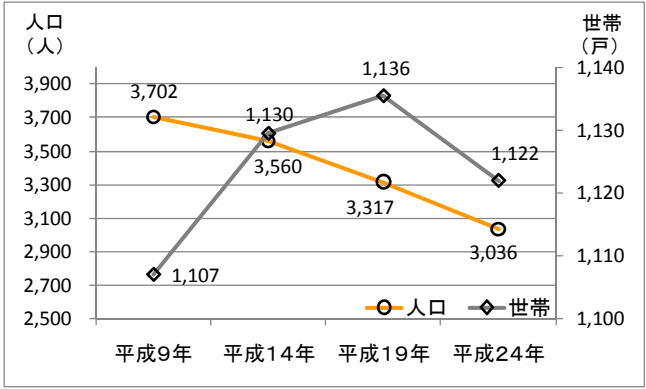
凡 例

	居住ゾーン		田園ゾーン		都市計画道路
	複合機能ゾーン		郊外計画的土地利用ゾーン		その他の主要道路
	工業ゾーン				鉄道
	物流軸				河川
					地域境界
					行政区境界

図 5-13 まちづくり方針図[坂野・和田島・新開地域](概ね 20 年後)

4 立江・榑瀨地域のまちづくり

1 地域の現況と特性

<p>地域の概況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○「立江小学校区」、「榑瀨小学校区」の2つの小学校区で構成します。 ○本市の南部に位置し、阿南市、勝浦町と接しています。 ○地形は、本地域の中央部から北東部にかけて平地となっており、北西部から南部にかけては丘陵地帯となっています。 															
<p>人口及び世帯数</p>	<p>○本地域の人口及び世帯数は、平成24年3月末現在の住民基本台帳より、3,036人、1,122戸となっています。市全体の人口の推移と同様に、本地域においても人口減少が続いています。</p>  <table border="1"> <caption>図 5-14 人口・世帯の推移 (各年3月末現在の住民基本台帳より集計)</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>人口 (人)</th> <th>世帯 (戸)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成9年</td> <td>3,702</td> <td>1,107</td> </tr> <tr> <td>平成14年</td> <td>3,560</td> <td>1,130</td> </tr> <tr> <td>平成19年</td> <td>3,317</td> <td>1,136</td> </tr> <tr> <td>平成24年</td> <td>3,036</td> <td>1,122</td> </tr> </tbody> </table>	年	人口 (人)	世帯 (戸)	平成9年	3,702	1,107	平成14年	3,560	1,130	平成19年	3,317	1,136	平成24年	3,036	1,122
年	人口 (人)	世帯 (戸)														
平成9年	3,702	1,107														
平成14年	3,560	1,130														
平成19年	3,317	1,136														
平成24年	3,036	1,122														
<p>土地利用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○本地域の全域が市街化調整区域に指定されており、農地、山林などの自然的土地利用が大部分を占めています。 ○平地では、集団的な農地が広がっているほか、まとまりのある住宅地が点在しています。 															
<p>都市施設</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○主要地方道阿南小松島線や一般県道宮倉徳島線などが本地域内を通過しています。 ○主要な公園・緑地として、立江川親水公園、赤石運動広場が整備されています。 															

2 市民アンケート調査（立江・櫛淵地域）

市民アンケート調査結果より、お住まいの地域（小学校区）の生活における満足度、重要度について、立江・櫛淵地域で集計したところ、次のとおりとなっています。

1 生活環境要素の満足度（有効回答者数 76 人）

生活環境要素の満足度は「地域の人とのつながりや交流」66.2%、「自然の豊かさや景観」65.3%、「公民館など地区の集会施設の利用のしやすさ」61.8%が上位を占めています。一方で、「火災・地震・水害などに対する安全性」21.1%、「公園の利用のしやすさ」27.4%、「歩行者・自転車の安全性」31.6%が下位を占めています。

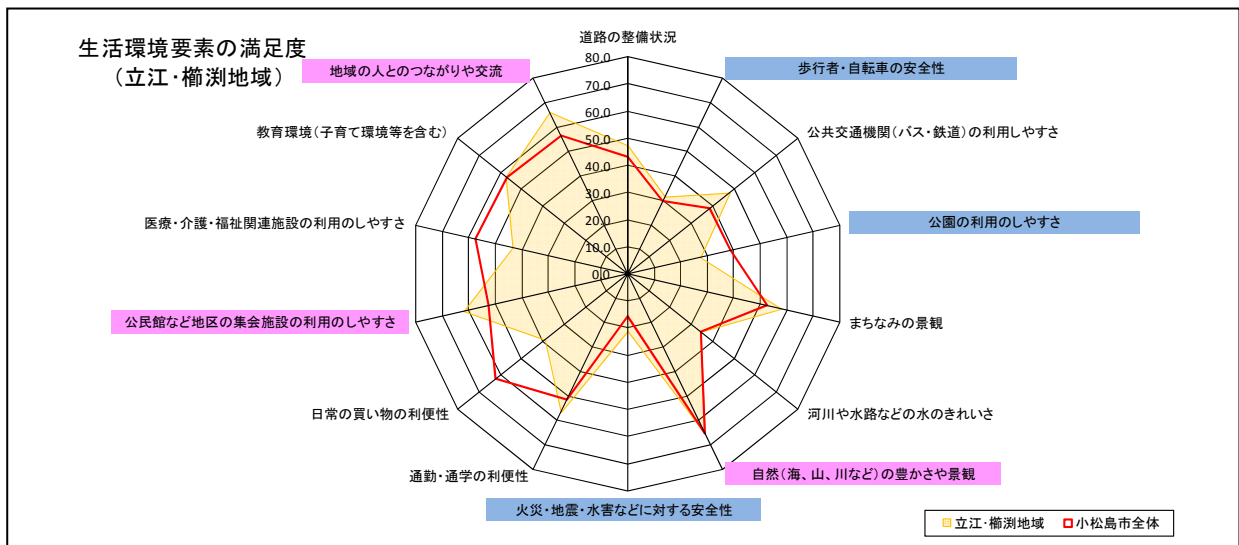


図 5-15 生活環境要素の満足度

2 生活環境要素の重要度（有効回答者数 61 人）

生活環境要素の重要度は「火災・地震・水害に対する安全性」44.3%、「河川や水路などの水のきれいさ」29.5%、「医療・介護・福祉関連施設の利用のしやすさ」27.9%が上位を占めています。

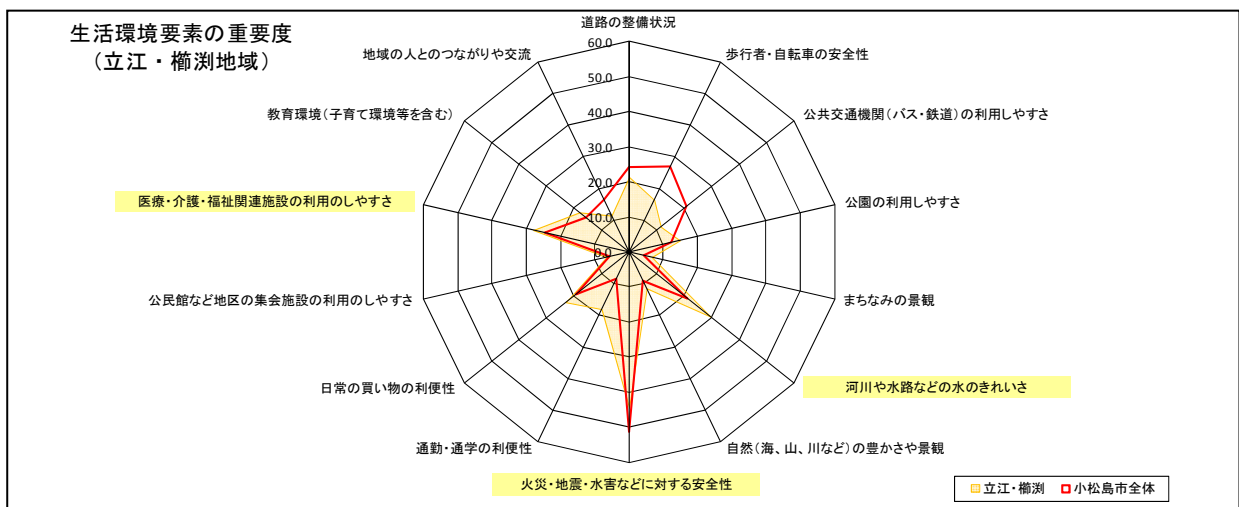


図 5-16 生活環境要素の重要度

3 まちづくりワークショップ（立江・櫛淵地域）

まちづくりワークショップの結果より、立江・櫛淵地域の主な意見やアイデアを集約し、分類ごとにまとめたところ、次のとおりとなっています。

地域の資源

●施設

「立江寺（四国八十八箇所十九番札所）」、「ミニ八十八箇所」、「神社（立江八幡神社、櫛淵八幡神社など）」

●産業

「農作物（お米、たけのこ、やまもも、しいたけなど）」、「花火工場」

●自然

「吹き筒花火」、「秋葉神社の天狗しばき」、「教育熱心な土地柄（学者などを輩出）」

●イベント・文化

「豊かな自然風景（山、川、田）」

地域の課題

●都市基盤

「橋（鷺橋など）が老朽化している」、「街灯が少なく暗い」、「農地の転用について規制緩和してほしい」、「光ケーブルがなくIT化が遅れている」、「子どもの遊び場が少なく遊具もない」

●産業

「有害鳥獣による農作物の食害」

●防災

「洪水被害がある」

●コミュニティ

「少子高齢化が進んでいる」、「近くに店がなく買い物不便」、「公民館活動やサークルが少ない」、「学校統合で地域の将来が心配」

地域の将来像

●都市基盤

「お遍路さんに愛されるまち」、「多くの人交流できるまち」、「高齢者が住みやすいまち（病院、食料品店がある）」、「高齢者や若者が交流できる場所づくり（花のある公園など）」、「学校など公共施設を地域に残して欲しい」

●自然

「田舎であることを活かしたまちづくり」、「自然環境を維持し、農業を中心としたまちづくり」

●イベント・コミュニティ

「婚活の実施」、「人材バンク（退職者の知識、技術を活用）」、「地域でも健康づくりのつどい開催」、「他のまちからの移住促進」

●産業

「大型店舗の誘致」、「ITを活用した地域の情報発信」、「有機農法や農産物の加工に取り組む」、「菌床椎茸など日本一のを活かす」、「櫛淵にも産直市を整備」、「山の南斜面を活かした自然エネルギーの利用」

4 まちづくりの目標設定（立江・榑渚地域）

全体構想における位置づけや地域の現況・特性、まちづくりワークショップの結果等を踏まえ、立江・榑渚地域のまちづくりの目標を次のように設定します。

○現況と課題 農業の振興

本地域は全域が市街化調整区域であり、ほ場整備された広大な優良農地や日当たりの良い山林を有するなど、農業に適した地域です。

まちづくりワークショップでは、お米や野菜、やまももなどの果樹、しいたけ、たけのこ等の農産物が地域資源としてあげられています。担い手不足による休耕田の管理の問題や有害鳥獣による食害といった課題も指摘されていますが、地域の将来像として、自然環境を維持し、農業を中心としたまちづくりを推進すること、具体的には有機農法の導入や農産物の加工、産直市での販売も含めた6次産業化の取り組みが提案されています。

○目標 豊かな農地と自然を守り、地域産業の活性化を促進するまちづくり

土地利用の規制や誘導により農地や山林を保全するとともに、担い手支援や農産物のブランド化といったソフト対策の連携により、地域の主要な産業である農業の活性化を促進します。

○現況と課題 安全な日常生活の確保

本地域では近年、主要地方道阿南小松島線が整備されるなど、交通の円滑化が図られつつありますが、JR立江駅や立江寺周辺は狭あいな道路が多く残っています。また、平成16年の台風23号による大雨では立江川が氾濫し、大規模な洪水が発生しています。

まちづくりワークショップでは、道幅が狭く歩道がないこと、立江川の橋が老朽化していること、街灯が少ないこと、洪水被害があることなど生活基盤施設や防災に対する様々な課題が指摘されています。

○目標 生活基盤整備と防災対策により、安心して暮らせるまちづくり

狭あい道路の改善や交通安全施設の整備により、歩行者等の安全を確保するとともに、防災の観点を含めた橋梁改修や治水対策を進め、安心して暮らせるまちづくりを推進します。

○現況と課題 生活関連施設の減少と少子高齢化

本地域は全域が市街化調整区域であり、JR 立江駅や立江寺周辺に規模の大きい集落が存在するほか、小規模な田園集落が点在しています。近年、国道 55 号周辺に店舗や産直市が立地していますが、既存集落では商店や病院が減少しています。

まちづくりワークショップでは、地域の課題として少子高齢化が進んでいること、近くに店舗がなく買い物が不便、農地の転用について規制緩和してほしい、学校統合で地域の将来が心配という意見があり、地域の将来像として病院や食料品店があり高齢者が住みやすいまち、学校などの公共施設を地域に残して欲しい、他の町からの移住促進、大型店舗の誘致などが提案されています。

○目標 田園集落の住環境向上とコミュニティの強化を図るまちづくり

JR 立江駅周辺や主要地方道阿南小松島線沿道の田園集落については、都市機能の集積を促す地域との連携を促進し、生活利便性を向上するとともに、農業との健全な調和を図った上で、住環境の向上とコミュニティの強化を図ります。

○現況と課題 観光・地域資源の活用

本地域はほ場整備された広大な田園とゆるやかな里山に囲まれたのどかな風景が広がり、また立江寺周辺には歴史ある門前町*が形成されています。

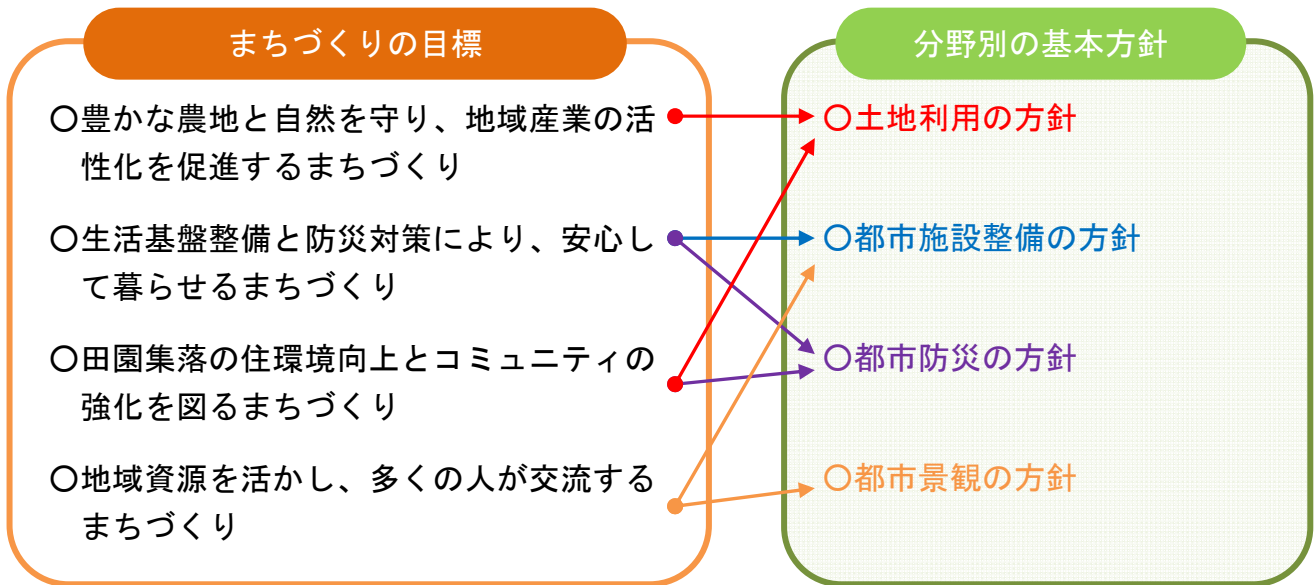
まちづくりワークショップでは、地域資源として豊かな自然風景と、立江寺、立江八幡神社、櫛淵八幡神社、吹き筒花火などがあげられ、地域の将来像として田舎であることを活かしたまちづくり、お遍路さんに愛されるまち、IT を活用した地域の情報発信、多くの人交流できるまちなどが提案されています。

○目標 地域資源を活かし、多くの人交流するまちづくり

歴史ある寺や神社、祭り、遍路道などの観光資源と田園・里山風景がおりなす景観を保全するとともに、イベント開催や情報発信などのソフト対策との連携により地域資源を活かし、地域内外の人々の交流を促進します。

5 まちづくりの方針（立江・櫛淵地域）

まちづくりの目標を実現するため、立江・櫛淵地域のまちづくりの方針を次のように示します。



○土地利用の方針

種 類	内 容
優良農地の 保 全	<p>○平野部に広がる優良農地は、ほ場整備や農業水利施設等の整備により農業生産性の向上や農業経営の安定を図り、地域産業の活性化を促進します。</p>  <p>優良農地 【主要地方道阿南小松島線から北西方向】</p>
山林地域の 保 全	<p>○山林地域は、山林が持つ景観、治水、防災など多様な機能を維持するため、自然環境の保全を図るとともに、樹園地の農業生産性向上を図り、地域産業の活性化を促進します。</p>  <p>山林地域【櫛淵町】</p>

田園居住地 の生活基盤 整備	○田園集落などの地域は、既存集落と自然が育む環境を大切に、農業生産性の向上に向けた環境整備を進めることを基本としながら、良好な住環境の形成や地域コミュニティ維持のため、農業との健全な調和を図った上で、道路等の施設整備や空き家対策の実施、地区計画等の活用を図ります。
地域の拠点 となる都市 機能の集積	○JR 阿波赤石駅周辺は、快適な市民生活に必要な都市機能（医療・福祉、子育て支援、商業・業務、教育・文化、行政など）のさらなる集積を促し、地域の利便性の向上を図ります。
計画的で 秩序ある 土地利用	○国道 55 号沿道周辺の地域は、農業や自然環境との健全な調和を図った上で、地区計画等の活用により、地域の利便性向上や産業の活性化を図りつつ、津波避難機能を備えた施設を適切に配置することで、計画的で秩序ある安全・安心な土地利用を図ります。

○都市施設整備の方針

種 類	内 容	
通学路の 安全確保	<p>○安全で快適な日常生活や災害時における避難経路を確保するため、狭あい道路等の拡幅を図ります。</p> <p>○安全で安心できる交通環境を実現するため、通学路などの危険箇所の改善を図るとともに、ガードレール、カーブミラーなどの交通安全施設の整備を推進します。</p> <p>○通学路の安全確保に向けた取組みを推進するため、教育委員会や警察、道路管理者（国・県・市）などの関係機関が連携し、通学路の安全対策を図ります。</p>	
公園・緑地 の整備	<p>○立江川親水公園など公園・緑地は、災害などの非常時に、避難場所や復旧復興活動拠点となる防災空間としての機能向上を図ります。</p>	
緑と水辺環 境を活かした交流空間 の形成	<p>○立江川親水公園などの身近な公園・緑地は、市民の健康づくりや憩い、交流の場、また生活にうるおいをあたえる自然とのふれあいの場として、保全・整備を進め、地域内外の人々の交流を促進します。</p> <p>○山林地域の緑豊かな自然環境や緑広がる田園風景などの緑地資源を活かし、特色と魅力ある環境づくりを図ります。</p>	

立江川親水公園

○都市防災の方針

種 類	内 容
浸水・土砂 災 害 対 策	<p>○立江川排水機場等の適切な管理により、台風や局地的な集中豪雨などによる浸水被害の軽減を図ります。</p> <p>○河川の氾濫、浸水などの災害に対する安全度を高めるため、徳島県と連携し、二級河川立江川水系河川整備計画に基づいて河道拡幅や河床掘削、築堤等の河川改修を推進します。</p> <p>○土石流や急傾斜地崩壊等の土砂災害が発生するおそれのある区域は、砂防施設の整備を図ります。</p>



二級河川 立江川

○都市景観の方針

種 類	内 容
門前町の 歴 史 を 活 か し た 交 流 空 間 の 形 成	<p>○立江寺や遍路道などの歴史的建造物や史跡の資源は、周辺環境に配慮しながら保全を図り、歴史的な街並み景観を活用した観光・交流のまちづくりを推進します。</p>

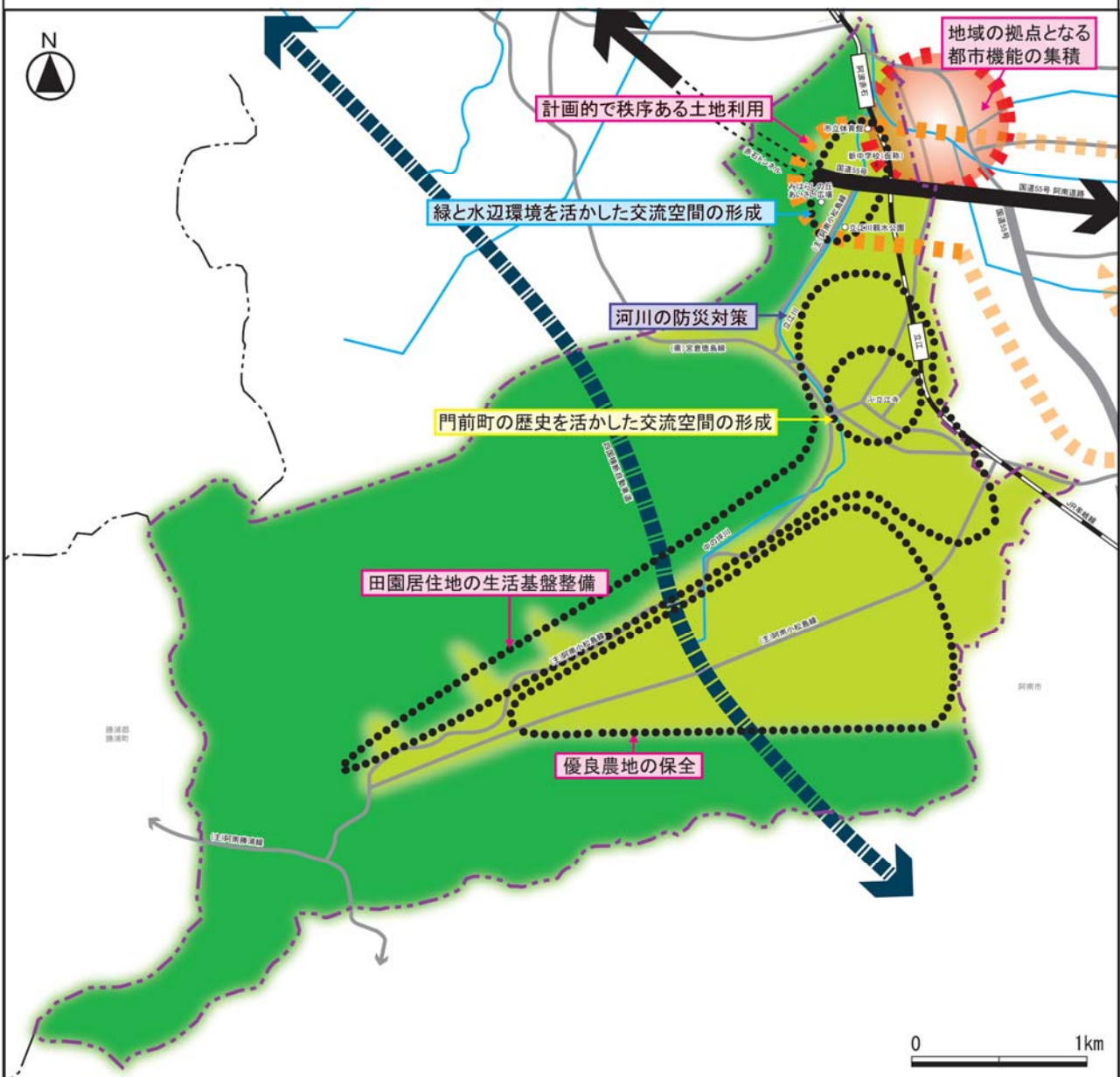


立江寺門前町
【白鷺橋から立江寺方向】



立江寺
(四国八十八箇所十九番札所)

まちづくり方針図[立江・櫛淵地域](概ね20年後)



まちづくりの目標

- 豊かな農地と自然を守り、地域産業の活性化を促進するまちづくり
- 生活基盤整備と防災対策により、安心して暮らせるまちづくり
- 田園集落の住環境向上とコミュニティの強化を図るまちづくり
- 地域資源を活かし、多くの人々が交流するまちづくり

凡 例

	複合機能ゾーン		四国横断自動車道
	田園ゾーン		都市計画道路
	山林ゾーン		その他の主要道路
	郊外計画的土地利用ゾーン		鉄道
			河川
			地域境界
			行政区区域界

図 5-17 まちづくり方針図[立江・櫛淵地域] (概ね 20 年後)